

東都
嘶家掃苔錄

青柳德次著

東都
新
家
掃
苔
錄

青
柳
德
次
著

凡例

高座名 本名 法名(戒名) 生年月日(没年 享年(数え年))

寺院場所 山号 寺号 宗旨 墓碑種類(竿石) 正面刻字 右側面刻字 左側面刻字 背面刻字

上台石・中台石・下田石 花立(水鉢) 香台(香炉) その他の順

記録による高座名・本名・法名(戒名)・生年月日(没年 享年(数え年))と「墓碑・墓誌」必ずしも一致しません(墓碑の享年は満年齢・数え年と一定ではありません)

墓碑・墓誌に刻字してある文字はそのまま記載しています

目次

東都嘶家掃苔録

一頁

附録(色物芸人)

六十四頁

その他

七十八頁

人名索引(高座名)

八十三頁

参考文献

九十五頁

安樂庵策伝 平林平太夫 法名不詳

天文二十三年(逆)〜寛永十九年 一月八日 八十九

京都市 総本山誓願寺浄土宗 西山深草派 無縫塔下

段・策伝日快上人 安樂庵策伝は誓願寺の五十五世
住職で、誓願寺塔頭竹林院の茶室安樂庵に隠棲

「醒睡笑」の作者で落語の祖ともいわれる。

策伝は道号。諱は日快。号は醒翁。

鹿野武左衛門 志賀武左衛門? 法名不詳

慶安二年(逆)〜元禄十二年八月十三日 五十

練馬区 十一ヶ寺墓地 浄土宗

誓願寺は浅草北寺町にあったが府中市紅葉丘一に移転。子院も多く現存する十一カ寺は練馬区練馬四に揃って移転したが、誓願寺・快樂院・受用院・得生院以外は関東大震災で過去帳を焼失。他四カ寺も武左衛門の記載が無いため依然として武左衛門の菩提寺は不詳。

江戸時代前期の落語家。江戸落語の祖、大坂難波の出身とも京の出身とも、本名は安次郎?

初代石井宗叔 石井宗叔(石井魯石) 法名不詳

生年不詳〜享和三年四月八日 享年不詳

江東区 龍徳山光嚴教寺雲光院 浄土宗

墓碑・過去帳なし 草加市 松寿山東福寺 真言宗智
山派に供養墓碑あり、自然石・東都落語元祖

石井宗叔墓 句が刻字も判読不能 網新舎木石建之
雲求恭阿書 「長ばなし」と 「座敷仕型話」を得意と

し小咄型の落とし噺だった落語を人情噺のように長
いものにして現在の落語に近い形を作った。江戸落語
の元祖である。

初代立川談笑 足袋屋庄八 法名不詳

生年不詳〜文化七年十二月二十七日 享年不詳

港区 松流山正伝寺 日蓮宗

「夢跡集」に自然石・中央 立≡立川談笑 右側・

文化七年庚午 左側・中橋廣小路 十二月廿七日

平成十三年迄あったがその後不明、平成二十四年に

復元墓碑再建 自然石・中央に立川談笑

右側・文化七年庚午 左側・十二月二十七日

初代桂文治 伊丹屋宗兵衛 釈空海

安永三年(逆)ゝ文化十三年十一月二十九日 四十三
四日市市 宝光山仏性院 浄土宗 昭和五四年に初代
文治の墓が仏性院の草むらでで見つかる 現在は四
日市市泊村九八〇―一五〇 泊山佛性院墓地出入口
一の左側にあり 角柱櫛型 正面・框内 俗名 桂文治
右側面・文化十三丙子天 釈空海 十一月廿九日
四日市にて客死 亭号桂の始祖 崇徳院の作者

初代鳥亭焉馬 中村英祝 三楽院寿徳焉馬居士

寛保三年(逆)ゝ文政五年六月二日 八十
江戸川区 牛宝山最勝寺 天台宗 通称・和泉屋和助
最勝寺は本所表町より移転 角柱笠塔婆型 正面框
内・法名三列の真中 三楽院寿徳焉馬居士
台石・なかむら 左側面・没年文政五壬午年六月二日
隣に自然石 歌碑(風化して読めない)

「夢跡集」にも図あり

鳥亭焉馬 「いそがずば」の狂歌碑 墨田牛嶋神社
「いそかすは 濡れまし 物と夕立のあとよりはるゝ

堪忍の虹」談州楼 鳥亭焉馬 背面・文化七歳庚午

三月吉日建之 本所堅川相生街 中村和助英祝

二代目石井宗叔 宗岡万龍 法名不詳

宝暦十三年(逆)ゝ文政六年五月四日 六十一
中央区 感応山稱楊寺 浄土真宗本願寺派
墓碑・過去帳なし

初代船遊亭扇橋 俗称・鉄五郎 広誉扇橋居士

生年不詳ゝ文政十二年四月十三日 享年不詳
江東区 法苑山浄心寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし
寺方の話では震災と戦災で過去帳も墓碑もない
扇橋之墓が有ったとも聞いていない。

只誠埃録に図あり

辞世 「ほととぎす明かしかねたる此世かな」

初代朝寝房夢羅久 里見晋兵衛 朝露夢覚居士

安永六年(逆)ゝ天保二年一月十七日 五十五
麻布龍土町 黄蓮山大圓寺 浄土宗 角柱平頭櫛形

「夢跡集」に墓碑図あり正面六列の左から二番目
朝露夢覺居士 天保二年正月五日 右側面・上総屋新
兵衛 台石・里見。明治四十一年杉並へ移転。墓碑・
過去帳なし 「墓誌」には麻布長玄寺とあり昭和三十
年代まで有ったと伝聞あり。無縁で整理されたら
しい 「墓誌」には没年天保二年正月五日歿とあり

紫檀樓古木(古喜) 藤島又吉 紫迎浄運居士

明和四年(逆) 天保三年十月八日 六十六
江東区 幽遠山玄信寺 浄土宗

墓碑は自然石で紫迎浄運居士・俗名紫檀樓古喜とあ
り 「六道の辻駕籠に身はのりの道ねぶつ(念仏)申し
て極楽へ行く」と記されている。花台・框内 紫檀樓

初代三笑亭可楽 京屋又三郎 三笑亭安誉可楽居士

安永六年(逆) 天保四年三月八日 五十七

台東区 蒼海山潮江院 曹洞宗 角柱香箱型 框内

子持ち釘抜き菱紋 法名五列 一列目 三笑亭安誉可

楽居士 天保四年三月八日 台石・三笑亭

辞世 「人混みをのがれて見れば花しずか(嘶し塚)」

初代三遊亭圓生 橘屋松五郎 法名・桃溪了遊居士

明和五年(逆) 天保九年三月二十一日 七十一

台東区 普門山全生庵 臨濟宗国泰寺派 角柱香箱型

台石・三遊亭 正面・三ツ扇紋 先祖代々之墓 右側・

初代圓生・二代圓生 左側・三代圓生・四代圓生

圓生記の碑 (圓朝墓碑の右脇)

初代 芝居嘶元祖山遊亭圓松ノチニ三遊亭圓生

桃溪了遊居士 天保九年三月廿一日歿 七十一才

二代 初代門人初代橘家圓藏 三遊圓生居士 文久二

年八月十二日歿 五十七才 尾形清治郎 四木

三代 二代圓生門人ノ圓朝門下で清蓮院圓譽全生居

士 明治十四年八月十六日歿 四十三才

野本新兵衛

四代 圓朝門人 法心院得脱日勝居士 明治卅七年一

月廿七日歿 五十九才 立岩勝次郎

五代 四代目圓生門人 四代橘家圓藏 「品川ニ住ス」

ノ門人 五代圓藏ヨリ圓生 圓寿院浄生日遊居

士 昭和十五年 一月廿三日歿五十七才 村田源
治 千歳鳥山永隆寺内

六代 品川圓藏門人五代目圓生息 山崎松尾 昭和卅
年十一月 六代圓生考證 松寿院圓生日栄居士
背面・昭和五十四年九月三日 行年七十九才

「夢跡集」に台東区 白雲山金龍寺 角柱香箱
型框内に 「元祖 桃溪了遊居士」施主二代目
三遊亭圓生 震災後整理墓地の為現在墓碑なし
過去帳あり 「夢跡集」に台東区 普門山全
生庵角柱香箱型 初代圓生墓 右側・二代圓生
左側・出淵民子 台石・三遊 現在此の墓碑なし

初代金原亭馬生 銀次郎 法名不詳

生年不詳 天保九年八月二十六日 享年不詳

品川区 月窓院 浄土宗 角柱型 正面・坂東家之墓

(四代目三津五郎は実兄)

桜川慈悲成 八尾大五郎(大助とも) 法名不詳

宝暦十二年(逆) 天保十年? 天保四年とも 七十二

港区 周光山濟海寺 浄土宗 墓碑・過去帳なし
「鉄拐」「悟氣の火の玉」の作者。

初代麗々亭柳橋 久世氏 當信院柳橋日曠

生年不詳 天保十二年四月二十一日 享年不詳

港区 連榮山持法寺 法華宗陣門流 角柱兜巾型

台石・麗々亭 右側・丸に並び鷹の羽紋 當信院□□

□□風化剥落不読 「夢跡集」より、當信院柳橋日

曠 天保十二年四月廿一日 左側・一名 左側面・久

世氏右側面・辞世 「ほととぎす明し兼ねたる此よか

な」 柳橋庵亀好

初代林屋正藏 下総屋正藏 諺林諦正善男

天明元年(逆) 天保十三年六月五日 六十二

台東区 靈龜山慶養寺 曹洞宗 自然石根府川石

正面に 「先祖代々之墓」左下に 「林屋正藏」

二代目三笑亭可樂 不詳 法名・稽寿院樂翁日笑信士

生年不詳 弘化四年九月三日 享年不詳

港区 速栄山持法寺 法華宗陣門流 角柱兜巾型

正面右・子持ち釘抜き菱紋 弘化四丁未九月三日

稽寿院楽翁日笑信士 ほか 一名 台石・翁屋 左側面・

施主 榊原新七 風化・難読 「落語家奇部類」にさん

馬建之とあり（初代翁屋さん馬↓可楽↓楽翁）

初代柳亭左楽 志げ吉？ 源道信士

生年不詳 嘉永元年十一月二日 享年不詳

江東区 法性寺 浄土宗 道本山靈巖寺中安禅寺 震

災の為法性寺と合併。「夢跡集」に墓碑図、角柱香

箱型 正面五三桐紋 三列真中に、源道信士 嘉永元

戊申十一月二日 左側面に志げ吉改 柳亭左楽墓

台石・柳亭左楽 現在不明

三代目司馬龍生 本名不詳 真月院酒楽居士

生年不詳 嘉永三年六月十八日 享年不詳

杉並区如法山長善寺 日蓮宗 大正十五年谷中芋坂

より 移転 墓碑・過去帳消失

初代土橋亭里う馬 上総屋善五郎 釈徹道居士

文化元年（逆） 嘉永四年六月十四日 四十八

台東区 勝龍山等覚寺 真宗大谷派 柱兜巾型

正面・框内・釋 先祖代々 燕樂信士 左右・法名あり

台石・浅井 この墓碑は改葬されています。記録では

角柱兜巾型スリン台 正面・丸に蔦紋 釋法名五名

左側面・釋法名五名 右側面・釋法名六名 背面・釋徹

道信士 嘉永四亥年六月十日 台石・上総屋

初代古今亭志ん生 福原清吉 古今院真生日清信士

文化六年（逆） 安政三年十二月二十六日 四十八

墨田区 照法山本久寺 日蓮宗 角柱櫛形

正面・福原家之墓 右側面・初代・二代新生之墓

三代目三笑亭可楽 辰巳勇吉 三笑院可楽日遊信士

生年不詳 安政四年六月四日 享年不詳

墨田区 照法山本久寺 日蓮宗 「夢跡集」に、角柱

香箱型 施主芝楽 正面右・三笑院可楽日遊信士

安政四年六月四日 正面左・高原院可楽日信士 明治

廿三年五月廿日(五代目三笑亭可樂(京都)原吉弥・前名四代目吾竹)左側面に明治二八年五月四日立之台石・框内に京都芝楽 現在は墓碑・過去帳なし

三代目桂文治 辰巳勇助 法名・笑寿亭桂文遊樂信士・

生年不詳(安政四年六月二十六日 享年不詳)

港区 桜田山光円寺 真宗大谷派 「夢跡集」に角柱

兜巾型 正面・結び柏紋 先祖代々一切精霊 右側に

安政四年六月二十六日 笑寿亭釋桂文遊樂信士 右

側面・桂月照空信士 文化十三年十一月廿九日(初代

命旦)松岳樹木信士 六月八日 施主桂幸女 台石・

桂氏 辰巳氏 現在墓碑・過去帳なし

(初代桂(笑寿亭)文樂↓楽翁↓大和太掾)

初代乾坤坊良斎 梅沢良斎

明和六年(逆)→万延元年六月二十七日 九十一

台東区 延命院 真言宗智山派 角柱平頭型 正面・三

つ折り鶴紋 「先祖代々之墓」左右側面・背面刻字な

し 花香台・梅澤

五代目桂文治 尾張屋峯松 法名・桂嶽文秀信士

天保二年(逆)→万延二年 一月十六日 三十一

文京区 関口山永泉寺 曹洞宗 角柱平頭櫛形

正面・丸に四つ引紋 框内右側・桂嶽文秀信士

万延二年 一月十六日 法名他三名

(二代目桂文樂↓) 二代目馬樂は弟

二代目立川焉馬 山崎嘗次郎 松樹院緑蒼淨月居士

寛政四年(逆)→文久二年七月二十三日 七十一

文京区 寶國山大雲寺 浄土宗 現在、墓碑・過去帳

なし 「夢跡集」に角柱笠塔婆型 正面・花頭框内 法

名四列四名 左側面・施主山崎助左衛門安秀 松樹院

緑蒼淨月居士 文久二壬戌七月廿三日 埼玉県本庄

市若泉山安養院無量寺に妻みよを安養院に葬つが

焉馬の名も二カ所が菩提寺。現在両寺共に墓碑なし

一代目三遊亭圓生 尾形清治郎 三遊亭圓生居士

文化三年(逆)→文久二年八月十二日 五十七

台東区 普門山全生庵 臨濟宗国泰寺派 角柱香箱型

台石・三遊亭正面・先祖代々之墓 右側・初代圓生・

二代圓生左側・三代圓生・四代圓生 背面・六代目

圓生 台東区 白雲山金龍寺

「夢跡集」に角柱香箱型 框内右 「元祖 桃溪了遊

居士」左に 「二代三遊亭圓生居士」右側面・施主二

代目 三遊亭圓生・背面右・桃 天保九年戊戌年九月

十日 左・三文久三年癸亥三月廿一日 台石・元祖三

遊亭 現在墓碑なし 過去帳あり

「夢跡集」に台東区 普門山全生庵 角柱香箱型

初代圓生墓 右側・二代圓生 左側・出淵民子 台石・

三遊 現在此の墓碑なし

圓生記の碑（圓朝墓碑の右脇）

二代 初代門人初代橘家圓藏 三遊圓生居士 文久二

年八月十二日歿 五十七才 尾形清治郎 四木

その他圓生代々の碑刻字は初代三遊亭圓生参照

四代目桂文治 渡辺平三郎 童遊亭大賀桂寿信士

文政二年（逆）ゝ慶応三年六月二十六日 四十九

港区 桜田山光円寺 真宗大谷派 墓碑なし

港区 龍臥山宝生院明王寺 真言宗智山派 図あり

角柱櫛型 正面・右側 下がり藤紋 浄体信士

左側 結び柏紋 妙慶信女 右側面・四代目桂文治

現在墓碑なし（二代目桂大和大掾）

二代目立川善馬 本名不詳 立善院法達日言

生年不詳ゝ慶応三年八月七日 享年不詳

台東区 石岡山妙福寺 日蓮宗 岡本家の墓所（文弥

の母の姉の夫）井上家の墓 右側面・立善院法達日言

慶応三年八月七日 立川氏と刻字があった。

現在は角柱平頭型 「岡本家の墓」になり改葬され

立川の刻字はない。

初代五明楼玉輔 津国屋長三郎 連城園清徳日談信士

享和三年（逆）ゝ慶応四年五月三十日 六十六

豊島区 徳栄山本妙寺 法華宗陣門流 本郷丸山より

明治四四年移転した。「夢跡集」に、角柱兜巾型

正面二列目に、連城園清徳日談信士 慶応四戊辰年

五月晦日 左側面 藤島氏 初代玉輔墓 横濱平田屋

台石・五明楼 現在は墓碑なし

(二代目金原亭馬生↓初代玉輔↓連城亭玉童)

墓地の為現在墓碑なし過去帳あり(初代橘家圓橘↓)

辞世 「枯尾花分け行くや我影法師」(圓朝の実父)

初代春風亭柳枝 幼名・亀吉 酒遊院柳枝日喜信士

文化十年(逆)〜慶応四年七月十七日 五十六

港区 法輪山妙像寺 日蓮宗 自然石(根府川石)

正面 「ちり果てすぐに春めく柳かな」

初め台東区長遠寺に葬られ酒遊院柳枝日新信士であつたがのちに妙像寺に移転、法名も改めた。

四代目三笑亭可楽 榊原謙三郎 広柳院松誉寿教居士

法名は登仙院可楽日光信士とも。

生年不詳〜明治二年九月十日 享年不詳

墨田区 照法山本久寺 日蓮宗 墓石・過去帳なし

「爆弾可楽」(三代目朝寝坊むらく↓)

初代橘家圓太郎 出淵長蔵 橘園新声居士

生年不詳〜明治四年十月十五日 享年不詳

台東区 白雲山金龍寺 臨濟宗妙心寺派 震災後整理

三代目立川焉馬 木本佐一郎 青松院晴山玉雅居士

生年不詳(逆)〜明治三年十二月一日 享年不詳

足立区 南昌山東岳寺 曹洞宗系単立

墓碑・過去帳なし

二代目三升亭小勝 富沢常吉 釈泉勝信士

生年不詳〜明治五年九月二十八日 享年不詳

中央区 雲悠山妙泉寺 浄土真宗本願寺派

角柱平型 富澤家之墓

一代目柳亭左楽 幼名・新治郎

生年不詳〜明治五・六年頃? 享年不詳

江東区 法性寺 浄土宗 改葬されているようで、

正面・平野家之墓 台石・蓮華框に五三桐紋

没年が無いが 「齒つけ」 左楽の墓のようだ。

四代目翁家さん馬 野口金次郎 空中齋青山日翁居士

生年不詳 明治六年二月三日 享年不詳

台東区常観山安立寺 日蓮宗 現在墓碑なし、過去帳あり、過去帳には「明治六年二月三日」法名・空中庵青山日翁居士と記されている。現住職副住職のお父さんの話では子供の時に自然石でさん馬を見たと言っているが定かではない。

三代目金原亭馬生 福山半兵衛 見性信士

生年不詳 明治六年九月十五日 享年不詳

台東区 長瀧山本法寺 日蓮宗 墓碑なし過去帳あり

二代目春風亭柳枝 紅林？ 全柳院量枝信士

文政五年(逆) 明治七年十月十一日 五十三

墨田区 久遠山常泉寺 日蓮正宗 竿石は改葬されいる正面・先祖代々之墓 台石・紅林 「墓誌」に

本名・養守庵二柳 「夢跡集」に墓碑図あり、角柱兜巾型 正面 「全柳院量枝信士」 明治七年十月十一日 台石・紅林と。辞世 「今さめる酒が真言の月の雨」

三代目立川談志 三宅岩太郎

生年不詳 明治九年十二月初め 享年不詳

世田谷区 深榮山長昌寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし

八光堂春輔 宮沢春輔 釈義證信士

生年不詳 明治十年八月十二日 享年不詳

台東区 真福寺 浄土真宗本願寺派 墓碑なし、過去帳あり

三遊亭圓録(圓六) 本名不詳 圓応智満居士

生年不詳 明治十二年二月二十一日 享年不詳

文京区 天長山是照院 臨濟宗妙心寺派 墓碑なし、過去帳あり

四代目林屋正蔵 林屋正蔵 廓相正雄信士

生年不詳 明治十二年七月二日 享年不詳

文京区 明窓山天然寺 浄土宗 墓碑・過去帳なし 我善坊の正蔵

初代三遊亭圓馬 野末亀吉 心鏡院圓馬日靜

文政十一年(逆)〜明治十三年十月十一日 五十三

荒川区 大黒山経王寺 日蓮宗 墓碑なし

「夢跡集」に図あり豊島区 徳栄山本妙寺立正院

本郷丸山より明治四四年移転した。角柱香箱型

正面真中に 「最祖三遊亭圓馬墓」 左右に野末家法

名六名分 台石・野末 俗に 「駒止の圓馬」

三遊亭ぼん太 加藤勝五郎 雨林宗香信士

生年不詳〜明治十四年六月六日 享年不詳

台東区 普門山全生庵 臨済宗国泰寺派 円柱型

正面・ぼん太之墓 背側・雨林宗香信士 昭和三十五

年三月圓朝顯彰會 建之 台東区 白雲山金龍寺に過

去帳あり 「墓誌」 には三遊翻太居士とあり。

三代目三遊亭圓生 嶋岡新兵衛 清蓮院圓蒼生全居士

天保十年(逆)〜明治十四年八月十六日 四十三

台東区 普門山全生庵 臨済宗国泰寺派 角柱香箱型

台石・三遊亭 正面・先祖代々之墓

右側・初代圓生・二代圓生左側・三代圓生・四代圓生
背面・六代目圓生

圓生記の碑(圓朝墓碑の右脇)

三代 二代圓生門人ノ圓朝門下で清蓮院圓蒼全生

居士 明治十四年八月十六日歿 四十三才

野本新兵衛 その他圓生代々の碑刻字は初代三遊亭

圓生参照 「墓誌」 江戸川区 長行山大雲寺 三代目

三遊亭圓生 野本新兵衛 清蓮院圓蒼全生居士

明治十四年八月十六日歿 四十三才 とある

林家正蝶 本名不詳 林家正蝶信士

生年不詳〜明治十五年六月二十七日 享年不詳

江東区 長光山陽岳寺 臨済宗妙心寺派

墓碑・過去帳なし

佃屋白魚 本名不詳 法名不詳

生年不詳〜明治十六年十月 享年不詳

荒川区 長盛山道慶院法界寺 浄土宗

酒樽型墓碑 正面・白魚 右上・佃家 左下・伊藤

徳利型の花立 孟型の線香立 家紋不読 丸に佃家
酒樽の墓石の下に眠りたいとの遺言通り、明治二十
六年落語家同志により四斗樽の墓碑が造られた。
佃屋白魚もの凄い大酒飲みで横浜の万竹亭出演中、
泥酔して梯子段踏み外し、転落死したそうです。

初代橋家圓三郎 林三之助 立華院圓明日三居士

文政十一年(逆) 明治十九年八月八日 五十九

文京区 妙法山蓮光寺 日蓮宗 角柱平頭型

林家之墓 側に自然石(根府川石) 正面 「立華院圓明
日三居士」 右側・初代橋家圓三郎 左側・明治十九年
八月八日

二代目古今亭志ん生 福原常蔵 新生院古今日説信士

天保三年九月 明治二十二年十一月二十四日

五十八 初代古今亭今輔 墨田区 照法山本久寺

日蓮宗 角柱櫛型 正面・福原家之墓 右側面・

初代・二代新生之墓(古今亭(五明楼)今輔↓)

三代目柳亭左楽 高山新三郎 廓然浄遊信士

安政三年(逆) 明治二十二年十二月四日 三十四

江東区 法性寺 浄土宗 道本山靈巖寺中安禪寺震災
の為、法性寺と合併。現在墓碑・過去帳なし

「夢跡集」に墓碑図、自然石(根府川石) 正面・三代
目 故 柳亭左楽之墓 右側・受法浄蓮信士 安政六未
年十二月廿八日 左側・通勝妙音信女 明治三年年三
月十九日 ふじ松ぎん蝶建之(ふじ松ぎん蝶は実弟)

四代目立川談志 中森定吉 本立院談志日悟信士

生年不詳 明治二十二年五月十日 享年不詳

台東区 顕寿山仏心寺 日蓮宗 平成二十二年七月迄
あり寺と中森家の宗旨違いの為移転。移転先不明
俗に 「釜堀の談志」 珍芸四天王

四代目金原亭馬生 平沼佐七 善徳院暁永日照信士

文政七年九月 明治二十二年五月三日 六十六

台東区 長瀧山本法寺 日蓮宗 嘗て 「林々舎馬勇之
墓」の墓碑があった。現在は失われた。過去帳あり

馬勇が由緒ある馬生の名跡を汚したとして元の馬勇で建立した。

二代目蝶花楼馬楽 加藤幸之助 鉄応良心信士

天保五年五月～明治二十二年六月二十二日 五十六
文京区 関口山永泉寺 曹洞宗 角柱櫛型 正面・框内
丸に四つ引紋 法名四名あり

右側面に初代蝶花楼馬楽之墓とあるが初代馬生
門人に馬楽の名がありこの方を二代と考える。

五代目三笑亭可楽(京都) 原吉弥 高原院可楽日信士

生年不詳～明治二十三年五月二十日 享年不詳
墨田区 照法山本久寺 日蓮宗

「夢跡集」に、角柱香箱型

正面右・三笑院可楽日遊信士 安政四年六月四日
正面左・高原院可楽日信士 明治廿三年五月廿日
(五代目三笑亭可楽(京都)原吉弥・前名四代目吾竹)
左側面に明治二八年五月四日立之 台石・框内に
京都芝楽とある 現在は墓碑・過去帳なし

七代目船遊亭扇橋 清水栄蔵

生年不詳～明治二十三年九月二十六日 四十三
台東区 普門山全生庵 臨濟宗国泰寺派
過去帳・墓碑なし

二代目三遊亭新朝 山田岩吉 自然院常唱日岩居士

生年不詳～明治二十五年十一月二十九日 享年不詳
台東区 日照山長明寺 日蓮宗 「夢跡集」に図あり、
角柱平頭型 正面・三遊亭新朝之墓 右側面・明治
二十五年十一月廿九日 左側面・自然常唱信士

(大正年間に谷中立光山正運寺を合寺した)

現在墓碑・過去帳なし

五代目土橋亭里う馬 金子金吉 龍化信士

安政三年(逆)～明治二十六年十一月一日 三十八
台東区 波宇山明順寺 真宗大谷派 墓碑なし、
現住職は墓を見ている、墓地の中央にあった。いつ
移動したか不明。

四代目桂文楽 新井文三 桂真院宜演文楽居士

天保九年十一月十日〜明治二十七年 一月二十八日

五十七 台東区 蓮葉山観音寺 真言宗豊山派

角柱兜巾型 兜巾に丸に三つ柏紋 正面・先祖代々

右に天保十三年壬寅九月二日 瓢箪百壽信士 左に

法山貞忍信女 天保十五年甲辰二月二十一日 台石・

瓢箪 中台石・大傳馬町 新井 香炉・新井 右側面・

法名四名 左側面・桂真院宜演文楽居士 明治廿七年

一月廿八日 他・法名三名 三代目桂三木助墓に後向

かいあう 俗に 「デユデコの文楽」

三代目麗々亭柳橋初代春錦亭柳櫻 斎藤文吉

春錦院柳桜居士 文政九年三月二十四日〜

明治二十七年六月八日 六十九

台東区 立隼山宗恩寺 真宗大谷派 角柱平頭型

正面・二世 桃川如燕(柳櫻の二男)

右側面・一世 春錦亭柳櫻 明治廿七年六月八日

四世 麗々亭柳橋 明治廿三年八月二一日

五世 麗々亭柳橋 大正十二年九月一日

台石・齋藤

「夢跡集」に図あり角柱平頭型 花頭框内・五三桐紋 釋春錦亭柳櫻信士 台石・麗々亭柳橋とある。現在の墓碑と違うので改葬されている。

三遊亭圓麗 芳村源六 釈永離信士

生年不詳〜明治二十八年二月二十六日 享年不詳

過去帳に 「明治三十二年二月六日 釈永離信士」

とある此方が正しそう。二代目小圓朝の実父

台東区 叡龍山淨林寺 真宗大谷派 角柱平頭型

正面・芳村家之墓 台石・框内三つ扇紋

初代春風亭柳條 加藤力松 釋力精信士

弘化二年六月〜明治二十九年十一月十二日 五十二

港区松本山光善寺 角柱櫛型 浄土真宗本願寺派

正面・先祖代々 左側面・故春風亭柳條 釋力精信士

明治二十九年十一月十二日 他 一名

三遊亭遊林 森彦太郎 法名不詳

生年不詳く明治三十年五月二十四日 享年不詳

台東区 護国山天王寺 天台宗 谷中靈園

角柱平頭型 正面・俱會一處 台石・三遊 背面・

三遊亭遊林 明治三十年五月二四日 三遊亭遊雀

昭和五年十月廿四日とほか記されている。

⑩俱會一處(阿弥陀仏の極樂浄土に往生したものは、浄土の仏・菩薩たちと一處で出会うことができるという意味)

二代目五明楼玉輔 鈴木重造 東蒼院玉雲梅翁居士

文政十二年(逆)く明治三十年九月十六日 六十九

港区 光明山和合院天徳寺浄土宗 詳細不明

二代目古今亭今輔 名見崎栄次郎

栄松院今誉西往信士

安政六年十一月く明治三十一年十月二十三日 四十

江東区 幽遠山玄信寺 浄土宗角柱香箱型

正面・法名五列の内左端に「栄松院今誉西往信士」

明治三十一年十月廿三日 台石・名見崎

「夢跡集」に図あり、角柱香箱型

正面・法名五列の内左端に「栄松院今誉西往信士」

明治三十一年十月廿三日 台石・名見崎 現在と同じ

五代目朝寝坊むらく 鹿島五兵衛

真如院夢楽日演居士

文政十二年(逆)く明治三十一年四月二十六日 七十

東京都府中市 多磨靈園・妙経寺寺域 日蓮宗

みたま堂 「夢跡集」に図あり、角柱兜巾型 正面・

妙法 先祖代々靈 右側・五代目朝寝坊むらく事

真如院夢楽日演居士 明治三十一年四月廿六日

左側・夢楽妻 真月院妙達日嚴信女 右側面・五代目

夢楽男 明治三十一年五月 鹿島与三松 建

台石・鹿寫 辞世 「あつまった地水火風は来たもと

く勝手に帰れ我は空々」

春風亭玉枝 本名不詳 梅中院楽阿弥大鳳居士

生年不詳く明治三十一年六月九日 享年不詳

台東区 延命院 真言宗智山派 角柱平頭型 正面・三つ折り鶴紋 「先祖代々之墓」 花香台・梅澤 左右側面・背面刻字なし 初代乾坤坊良斎と同じ墓のち洲崎で櫻川梅孝

二代目柳家小さん(禽語楼小さん) 大藤樂三郎
浄光院清音明響居士

嘉永二年八月〜明治三十一年七月三日 五十

台東区 養白山西光院 浄土宗 自然石(根府川石)

正面真中・浄光院清音明響居士 右側・俗名大

藤樂三郎 享年四十九 左側・小三禽語楼

二代目三遊亭萬橋 鈴木源七 浄信院源道日信居士

嘉永六年(逆)〜明治三十一年八月八日 四十六

豊島区 妙永山本納寺 日蓮宗 角柱香箱型

正面・漸修院持法日成居士 台石・宅間

(初代柳家小せん実父)

二代目桂才賀 増田平助 斎誉了頓信士

天保元年八月〜明治三十一年九月七日 六十九
葛飾区 貞林院瑞正寺(莊嚴山 功德院瑞正寺)

浄土宗(貞林寺と瑞正寺を昭和五五年に合併してできたお寺) 角柱香箱型 正面右・星梅鉢紋

正面左・丸に結び柏紋 斎誉了頓信士 以下難読

右側面・金三両 桂才賀 台石・増田 井桁紋

花台・六つ槌車に一の字紋 過去帳あり

(長男は五代目桂文樂 実弟・秀吉は春風亭傳枝)

四代目橘家圓太郎 石井菊松 圓立院花橘日松信士

弘化二年五月十一日〜明治三十一年十一月四日

五十四 文京区 妙法山蓮光寺 日蓮宗 角柱香箱型

正面・石井家之墓 右側面・圓立院花橘日松信士

明治三十一年十一月四日 四代目橘家圓太郎

四十六才 ほか三名 花立・丸に五三桐

「夢跡集」に 角柱平頭型 正面真中・四代目橘家圓

太郎墓 右側・明治三十一年 左側・戊十一月四日

台石・三遊連 香炉・橘家(法名圓光院花橘日勝信士)

柳亭左鶴 伊東卯之助 法岸直到信士

安政二年四月～明治三十二年五月二十六日 四十五

台東区 光明寺(大正一五年西光寺と合併)

浄土宗 角柱平頭型 正面・伊東家之墓 台石・家紋

春風亭伝枝 増田秀吉 秀岳涼風信士

明治十年七月～明治三十二年七月八日 二十三

葛飾区 貞林院瑞正寺(莊嚴山 功德院瑞正寺)

(貞林寺と瑞正寺を昭和五五年に合併してできたお

寺) 浄土宗 角柱香箱型 正面右・星梅鉢紋

正面左・丸に結び柏紋 斎萱了頓信士 以下難読

右側面・金三両 桂才賀 台石・増田 井桁紋

花台・六つ槌車に一の字紋(五代目桂文樂は実兄

二代目桂才賀は実父) 過去帳あり

初代談洲楼燕枝 長島伝次郎 柳高院傳譽燕枝居士

天保九年十月十六日～明治三十三年二月十一日

六十三 台東区 五台山源空寺 浄土宗 角柱平頭型

正面・長島家之墓 右側面・柳高院傳譽燕枝居士

明治三十三年二月十一日 他法名五名

自然石塚あり 「談州樓燕枝塚 九世三升之㊤」

㊤ 九代目市川團十郎

辞世 「枯れるものの終わりもありて瘤柳」

初代三遊亭圓朝 出淵次郎吉 三遊亭圓朝無舌居士

天保十年四月一日～明治三十三年八月十一日

六十二 台東区 全生庵 臨濟宗国泰寺派 角柱兜巾

型 正面・三遊亭圓朝む舌居士 織山岡鉄舟書 花立・

三つ扇紋 右側面・辞世 「耳しひて聞さだめけり露

の音」素岳書 左側面・明治三十三年八月十一日歿

享年 六十二 明治三十四年七月建之 祠堂金百圓

三遊亭圓朝門弟中 同 客員中 藤浦周吉

遠藤権次郎

三遊亭圓朝の碑 境内右

正面・三遊亭圓朝翁の碑

桂劍為何借思史在何處 明治卅九年七月十一日

世外書(井上馨伯) 背面・建碑者名多数

四代目麗々亭柳橋 斎藤龜吉 釈春麗院柳演居士

万延元年九月十五日〜明治三十三年八月二十一日

四十一台東区 立隼山宗恩寺 真宗大谷派

角柱香箱型スリン台 正面・桃川如燕(柳櫻の二男)

右側面・一世 春錦亭柳櫻 明治廿七年六月八日

四世 麗々亭柳橋 明治卅三年八月二一日

五世 麗々亭柳橋 大正十二年九月一日 台石・齋藤

「夢跡集」に図あり角柱平頭型 花頭框内・五三

桐紋 釋 春錦亭柳櫻信士 台石・麗々亭柳橋とあ

る。現在の墓碑と違うので改葬されているもよう

三代目春風亭柳枝 鈴木文吉 春柳院枝文日興居士

嘉永五年九月二十三日〜明治三十三年十一月十四

日 四十九 江東区 妙猷山円珠院 墓碑なし過去帳

あり 円珠院・浄真寺説が有ったが円珠院は

浄心寺の塔中で、関東大震災までは浄心寺の背手

にあったが、震災後の区画整理で現在地に移った。

桂栄賀 桐ヶ谷栄吉 芳樹院栄賀日悠信士

弘化三年三月〜明治三十四年三月二日 五十六
大田区 妙玄山実相寺 角柱香箱型

初代春風亭年枝 村岡唯吉

天保十四年二月〜明治三十四年四月十一日 五十九

台東区 本山東本願寺 お寺の協力得られず不明

俗に「クシヤクシヤ年枝」八代目正蔵の「年枝の

怪談」のモデル

春風亭菊枝 松浦久次郎 柳道菊枝信士

天保八年十一月〜明治三十四年八月二十一日

六十五 新宿区 宝林山養国寺 角柱平頭型

正面・松浦家之墓(玉家柳勢↓)

三遊亭圓鶴 片倉順六 清順院圓鶴居士

嘉永四年(逆)〜明治三十四年九月二十一日 五十一

浅草永住町 蓮妙寺 東京に蓮妙寺なし

浅草永住町(元浅草)に合併した寺も無く不明

三遊亭 一朝の実弟

初代三遊亭小圓遊 鳥羽長助 智性院小圓遊日樂居士

明治四年(逆) 明治三十五年八月二十九日 三十二

新宿区 福聚山常圓寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし

圓生記の碑(圓朝墓碑の右脇)

四代 圓朝門人 法心院得脱日勝居士 明治卅七年一月廿七日歿 五十九才 立岩勝次郎

その他圓生代々の碑刻字は初代三遊亭圓生参照

四代目三遊亭圓生 立岩勝次郎 法心院得脱日勝信士

弘化三年八月ゝ明治三十七年 一月二十七日 五十九

台東区 盛林山大正寺 日蓮宗 角柱香箱型 正面・

法名四列・左二列に四代目圓生実子小圓喬の法名

順縁栄光信士 大正九年八月三一日刻字 台石・立岩

立光山正運寺・大正時代廃寺・大正寺と合寺 改葬

「夢跡集」に台東区 盛林山大正寺(立光山正運寺・

廃寺)大正時代合寺 角柱兜巾型 正面花頭框内・

先祖代々 法名四列の内左から二列目 法心院得脱

日勝信士 台石・三遊亭四代目圓生

花立・施主 橘家圓喬 現在は墓碑なし

台東区 普門山全生庵 臨済宗国泰寺派 角柱香箱型

台石・三遊亭 正面・先祖代々之墓 右側・初代圓生・

二代圓生 左側・三代圓生・四代圓生

背面・六代目圓生

五代目三笑亭可樂 平田芳五郎 溪巖芝樂居士

天保六年(逆)ゝ明治三十七年十二月十二日 七十

新宿区 高月山長善寺 日蓮宗(別名笹寺)

角柱平頭型 正面・平田家之墓

二代目邑井吉瓶 渥美彦太郎 道宏祐宜信士

文久二年(逆)ゝ明治三十八年四月二十一日 四十四

台東区 菩提山最尊寺 浄土真宗系単立 角柱香箱型

正面・家紋 先祖代々之墓 台座・(氏□屋)吉瓶

(土橋亭里う吉↓)

三代目三升家勝次郎 三輪政吉 柳徳院清風日勝居士

嘉永二年九月ゝ明治三十九年三月六日 五十八

豊島区 実妙山法成寺 顕本法華宗 浅草より昭和

十八年現在地に移転。墓碑なし、過去帳あり

四代目三升亭小勝 石井清兵衛 勝宗院遊樂日友居士

安政三年三月～明治三十九年四月六日 五十一

台東区 瑞輪寺内躰仙院 日蓮宗 角柱香箱型スリン

台 正面・浮線桐紋 先祖代々之墓 台石・石井 中花

台・入れ子枘紋 両脇花台・丸に三つ相紋 石井

右側面・勝宗院遊樂日友居士 明治三十九年四月六

日 藝海院永照日寛居士 昭和四十七年四月二十九

日 俗名石志伊寛 行年七十一才 実子石井寛と同葬

左側面・聞法院誦經日典信士 享和三癸亥年十一月

八日 飯田平蔵墓 主国下総国香取郡中村産 江戸

灵(霊)岸島 「狸の小勝」

二代目三遊亭圓橘 佐藤三吉 積善徳誉橘阿弥居士

天保八年二月～明治三十九年七月十一日 七十

新宿区 五切山法蔵寺 浄土宗 角柱平頭型

正面・家紋 向譽専念信士 右側・天保六乙未年

台石・く組 俗に 「菓研堀の圓橘」

三遊亭市馬 味波文之助 圓行院常德日顕居士

生年不詳～明治四十年 一月四日 五十五

台東区 寂靜山蓮華寺 日蓮宗 六角香箱型蓮華台

正面・妙法 皆大院法道日光信士 右側面・法名三名

右奥側面・法名一名 左側面・萩原金蔵・背面・法名一名 市馬の法名は刻まれていない。

六代目朝寝坊むらく 永瀬徳久 心浄院還阿智寛居士

安政六年(逆)～明治四十年 一月五日 四十九

文京区 金剛山常泉院 真言宗豊山派 厨子・永瀬家

「墓誌」は本名・永瀬紫摩太郎

入船米蔵 福井定吉 真実院定吉信士

明治三年(逆)～明治四十年 一月十五日 三十八

墨田区 是應山実相寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし

初代三遊亭三福 三橋龜太郎 天心玄遊信士

慶応二年二月三日～明治四十年九月四日 四十二

台東区 天徳山本然寺 曹洞宗 自然石・三遊亭三福

之墓 明治四十年九月四日 平成九年十月まで確認
現在は以下に改葬された。角柱平頭型 正面・三橋家
之墓 台石・丸に三つ葵紋

俗に 「ニヨロニヨロヒヤアの三福」
本然寺に、お菊稲荷が祀られている。

初代三遊亭圓遊 竹内金太郎 唱行院円遊日悟居士

嘉永三年五月二十八日 明治四十年十一月二十六

日 五十八 台東区 護国山天王寺 谷中霊園 天台宗

円柱型蓮華台 正面・框内 唱行院円遊日悟居士

後面・明治四十年十一月二十六日 歸泉 通稱 初代

三遊亭圓遊 一周忌日 伴 若柳吉蔵(清遊) 建

花台・框内四つ割り菱紋 香台・若柳

天王寺に過去帳あり 実子清遊の墓碑脇にあり

辞世 「散りぎわも 賑やかなり 江戸の花」

麗々亭柳門 関根幸三郎 演誉常設居士(信士)

嘉永六年八月 明治四十一年五月十二日 五十六

文京区 東光山西岸寺 浄土宗 墓碑は震災で消失、

遺骨は本堂地下室に合葬、過去帳あり 「墓誌」は
居士 過去帳は信士になっている

二代目三遊亭金朝 赤田滝次郎 三遊亭金朝無哲居士

嘉永二年(逆) 明治四十二年三月二十二日 六十一

荒川区 大雄山泊船軒 臨濟宗妙心寺派 五輪塔型

台石・先祖代々之墓

初代三遊亭圓左 小泉熊山 小泉熊山霊

嘉永六年(逆) 明治四十二年五月八日 五十七

豊島区 都立染井霊園 宗教不問 角柱神道型

正面・三遊亭圓左之墓 背側・三遊亭圓左建之

林家正楽 松岡宗助 喜誉宗翁信士

天保六年十一月 明治四十二年五月二十九日

七十五 台東区 透雲山宗圓寺 浄土宗 角柱平頭型

正面・松岡家之墓 台石・丸に三つ葵

(講釈師・神田伯理でもある)

二代目瀧川鯉かん 高橋兼次郎 緑了兼信士

天保四年四月四日〜明治四十二年十月二十五日

七十七 豊島区 薬王山善養寺 天台宗

墓碑・過去帳なし(住職が無いと言って調べてくれなかった) 二代目柳亭左龍の叔父

(二代目柳亭左龍の墓碑あり)

喜久亭寿楽 倉繁善太郎 釈浄善信士

嘉永七年三月〜明治四十二年十二月七日 五十六

港区 樹谷山正満寺 浄土真宗本願寺派 角柱香箱型

正面・南無阿彌陀佛 台石・倉繁・石井 五三桐紋

初代柳亭左龍 岡本龍造 陽柳軒玉誉教堂左龍居士

文政十一年八月〜明治四十三年十二月一日 八十三

江東区 雄松院 浄土宗 角柱香箱型

正面・岡本家之墓

瀧川鯉橋 福田金太郎 大感理響信士

生年不詳〜明治四十三年十二月三日 享年不詳

台東区 廣澤山正洞院 曹洞宗 大震災で寺が消失・

墓地四割道路用地に。また東京大空襲で灰塵に帰す。

墓碑・過去帳なし

六代目桂文治 桂文治 桂月院釈家元文治居士

天保十四年(逆)〜明治四十四年二月十六日 六十九

港区 桜田山光円寺 真宗大谷派 墨田区 墓碑なし

柳嶋妙見山法性寺 日蓮宗に六代目文治の碑あり

桂家元 柳連

故六世文治之碑 自然石

江戸落語の名家文治翁の碑の成り立ちを喜びて

名に残る芝居噺や涼ミ台 三代目

柳家小さん

石碑背面は、世話人・三笑亭可楽、桂文楽、翁家さ

ん馬の名前が刻されています。(大正四年七月建立)

俗に「ちりれんげ」 四代目文治は実父

(三代目文楽↓六代目桂文治↓三代目桂大和掾↓

三代目桂楽翁)

三遊亭大漁 海東万吉 教海大漁居士

文久元年十月十日〜明治四十四年七月二十九日
五十一台東区 護国山天王寺 谷中靈園 天台宗
墓碑なし 過去帳あり

四代目柳亭左楽 福田太郎吉 洋楽院寛阿雄心居士

安政三年 一月二日〜明治四十四年十一月四日
五十六台東区 神田山日輪寺 時宗 角柱平頭型
スリン台 正面・家紋 福田家累代之墓

左側面・洋楽院寛阿雄心居士 明治四十四年十一月
四日 ほか五名の法名あり 俗に「オットセイ」

四代目橘家圓喬 柴田清五郎 清月院圓喬日暢居士

慶応元年九月二十一日〜大正元年十一月二十二日
四十八豊島区 威光山法明寺 日蓮宗 自然石

正面・橘家圓喬之墓 左側・辞世 「筆持つて月と話
すや冬の宵」 背面・大正元年十一月廿二日 寂 柴田

清五郎 左側・年月 日 妻きん 左上・永代祠堂金五
拾圓也 左下・永代祠堂 二名の金額と名前

俗に「玄治店の師匠」名人圓喬

五代目七昇亭花山文 美名本七郎 美名本七郎靈

安政元年八月〜大正三年 一月十四日 六十一
豊島区 雑司ヶ谷靈園 宗教不問 現在不明

（龍志師のおかみさんが調べたが分からなかった）

三代目蝶花楼馬楽 本間弥太郎 釈浄證信士

元治元年八月二日〜大正三年 一月十七日 五十一
台東区 東叡山浄名院 天台宗 地藏菩薩坐像蓮台

六角 上台石正面・大正三年 一月十六日 釈浄證信士
俗名本間弥太郎 右側・発願主 上野浄名院比丘妙

運 八萬四千鉢之内第四千四百六十番 左側・大正
三年 一月十六日 三代目柳家小さん建之 世話人

神田通新石町 万惣 青木銀子 立花亭 下台石正面・
蝶花楼馬楽 右花台・昔ばなし柳連 柳家つばめ 三

舛家小勝 古今亭今輔 左花台・昔ばなし柳連 金原
亭馬生 柳家小せん かつら文楽 通称 「馬楽地藏」

「ここにまた八笑人や馬楽の忌」勇

三代目三遊亭金朝 赤田金太郎 三遊亭金朝無脳居士
明治十一年(逆)大正三年二月十三日 三十七

荒川区 大雄山泊船軒 曹洞宗 五輪塔型 台石・先祖
代々之墓 台東区 興福山永久寺 過去帳あり

初代三遊亭遊三 小島長重 萬善院徳誉長重居士

天保十一年大正三年七月八日 七十五

文京区 寶國山大泉寺 浄土宗 墓碑確認できず

(不明) 俗に「よかちよろの遊三」

二代目柳亭左龍 相沢重五郎 秋領道澄信士

安政六年一月大正三年九月五日 五十六

豊島区 薬王山善養寺 天台宗 角柱兜巾型 正面・

二代目柳亭左龍之墓 台石・自然石 左側面・不読

「墓誌」法名・秋嶺道澄信士とあり

柳家小きん 那須正勝 正光院善誉順勝居士

嘉永二年十一月大正三年十月二八日 六十六

江戸川区 医興山正徳寺 真言宗豊山派 昭和二十年

三月の戦災で焼失、本堂は昭和四十七年十二月鉄筋
にて建立墓碑確認できず(不明)

二代目柳亭小燕枝 山本権次郎 広岳禅定門

文久元年四月八日大正四年十一月二十六日

五十四 台東区 浅草山東国寺 曹洞宗 竿石二つに
折れ 山本家之墓(風化) 台石・山本 俗に「むず権」

春麗亭柳花 松平乗房 凌雲院日乘居士

嘉永五年六月二十五日大正四年十二月三十日

六四 墨田区 是應山実相寺 日蓮宗

戦災で墓碑・過去帳なし 米蔵(福井定吉)の実兄

三代目三遊亭圓橘 塚本伊勢吉 釈圓橘信士

慶応四年二月七日大正五年十月二十四日 四十九

台東区 宗恩寺 真宗大谷派 墓碑なし

三升家勝輔 中村清助 真浄院光信士

生年不詳大正六年十二月十六日 享年不詳

荒川区 運千山真養寺 日蓮宗 角柱香箱型 正面・
中村家之墓 台石・家紋

五三の桐紋 正面・中村家之墓 台石・中村

初代柳家小せん 鈴木萬次郎 法有院鼓船日樂居士

三代目古今亭志ん生 和田岩松 古今亭黙笑雷門居士

生前法名 「古詮院法有信士」

文久三年九月五日〜大正七年五月十日 五十六

明治十六年四月三日〜大正八年五月二十六日

新宿区 月海山法身寺 臨濟宗円覚寺派 自然石

三十七 豊島区 妙永山本納寺 日蓮宗 角柱香箱型

三代目古今亭志ん生之墓 背面真中・古今亭黙笑雷

正面・漸修院法日成居士

門居士 右側・俗名 和田岩松 左側・大正八年五月拾

「小せんの手見えて悲しき火桶哉」勇

二建之俗に 「軍鶏の志ん生」

三代目五明楼玉輔 川村赤吉

七代目土橋亭里う馬 村松新三郎 昇譽龍馬居士

地球庵兎園如常本来帰空居士

弘化四年九月〜大正九年五月二十一日 七十四

嘉永元年二月二十六日〜大正七年十月 一九日

台東区 長寿院 浄土宗 角柱平頭型

七十一 墨田区 久遠山常泉寺 日蓮正宗 自然石

正面・丸に細唐花紋 村松家之墓

正面・川村家代々之墓

橘家小圓喬 立岩栄吉 順緑栄光信士

初代橘家圓之助 中村代次郎

明治?〜大正九年八月三十一日 享年不詳

天保十四年(逆)〜大正七年十一月三日 七十六

台東区 盛林山大正寺 日蓮宗 角柱香箱型 正面・

台東区 泰平山萬隆寺 曹洞宗 角柱香箱型

法名四列あり、左から二列目・順緑栄光信士

大正九年八月三十一日 四代目圓生の実子

平成二十四年まであり、その後移転(不明)
墓碑・過去帳なし

三遊亭圓玉 岩出源次郎 遊行院笑楽信士

慶応二年五月二十二日〜大正十年三月六日 五十六
台東区 顕寿山仏心寺 日蓮宗 角柱香箱型 正面・丸
に四つ目菱紋 南無妙法蓮華經 右側・遊行院笑楽信
士 「楽信士」は剥離していて読めない 台石・岩出

麗々亭柳仙 深島徳次郎 徳光専隣信士

安政三年(逆)〜大正十年四月二十五日 六十五
中野区 慈雲山龍興寺 臨済宗妙心寺派 角柱香箱型
正面・框内 風化激しく読めない

三代目柳亭燕路 中村政吉 釋燕楽信士

弘化三年五月〜大正十年九月十三日 七十六
台東区 勝龍山等覺寺 真宗大谷派 角柱兜巾型
正面真中・四方爪に花菱紋 先祖代々 燕楽信士
大正十年九月十三日 ほか法名二名 「赤坂の燕路」

春風亭柳窓 佐々木吉郎 釈了憲

明治十九年十二月二十五日〜大正十年十月四日
三十六 杉並区 祥雲山福寿院 曹洞宗 墓石・
過去帳なし 安藤鶴夫 「寄席紳士録」梅枝のモデル

四代目三升家勝蔵 田村留吉 秋誉浄月信士

万延元年八月〜大正十年十月十二日 六十二
文京区小石川 墓所不詳 「墓誌」による

四代目橘家圓蔵 松本栄吉 橘香院阿頓証居士

元治元年(逆)〜大正十一年二月八日 五十九
台東区 神田山日輪寺 時宗 角柱香箱型蓮華台
正面・松本家之墓 香箱・松本 花台・三ツ組橘紋

四代目橘家圓蔵の碑

横浜新富亭出演中急死 関係者の手で横浜市南区
瑞應山弘明寺に建立 自然石・四代目橘家圓蔵之碑
三代目柳家小さん書 背面・大正十一年四月十八日
施主 五代目橘家圓蔵 中山千代(名妓) 外門弟 一同
建之俗に 「品川の圓蔵」

秋風亭米枝 平野茂三郎 釈茂枝善信士

万延元年三月二日〜大正十一年十月二十八日

六十三港区 槃舟山願生寺 浄土宗 角柱兜巾型

正面・先祖代々之墓 台石・平野家

竿石ともに風化、読難い

初代春風亭梅枝 矢野新三郎

生年不詳〜明治十三年一月一日 享年不詳

江東区 福聚山普門院善應寺 真言宗智山派 墓碑・

過去帳なし 一度訪問したが矢野家の墓碑なし、

寺の協力が得られなかった。俗に「五厘の梅枝」

文の家かしく可祝 吉岡力蔵 清譽暢音信士

万延元年七月〜大正十二年三月一日 六十四

文京区 浄土山十方寺 浄土宗 角柱香箱型

吉岡家の墓右側面・法名三名 花立・丸に三つ葵紋

のち法名 演譽暢音可祝信士

五代目林家正蔵 吉本庄三郎 釈教観正定聚位

文政七年十一月十一日〜大正十二年三月六日 百才

沼津市 勸山真樂寺 真宗大谷派 角柱平頭型スリン

台 正面・框内 吉本家累代之墓 右側面・框内

辞世「百とせを花に過ごして花乃山」「百歳正蔵」

五代目林家正蔵 百才翁 俗に「沼津の正蔵」

四代目三升家勝次郎 本多吉之助 釈勝静信士

慶応四年二月〜大正十二年八月七日 五十六

中央区 雲悠山妙泉寺 共同墓地 浄土真宗本願寺派

俗に「カッパの勝次郎」(富士松ぎん楽↓柳亭右龍

↓小燕三↓燕雀↓)

一代目三遊亭小圓朝 芳村忠次郎 釈義圓信士

安政四年十二月十六日〜大正十二年八月十三日

六十七 台東区 叡龍山浄林寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・芳村家の墓 右側面・釈幸圓信士

(三代目小圓朝) 昭和四十八年七月十一日 他一名

左側面・昭和四十三年七月 芳村孝太郎建之

三代目小圓朝は実子(初代三遊亭金馬↓)

五代目麗々亭柳橋 斎藤久吉 釈麗々院柳橋居士

明治四年四月十九日〜大正十二年九月一日 五十三

台東区立隼山宗恩寺 真宗大谷派 角柱平頭型

正面・桃川如燕(柳櫻の二男)

右側面・一世 春錦亭柳櫻 明治廿七年六月八日

四世 麗々亭柳橋 明治卅三年八月二一日

五世 麗々亭柳橋 大正十二年九月一日

台石・齋藤

初代快樂亭ブラック HENRY J. BLACK(1858-1923)

安政五年十二月二十二日〜大正十二年九月十九日

六十五 横浜市 外人墓地 十字架墓碑 キリスト教

二代目三遊亭圓遊 吉田由之助 悟楽院道譽圓遊居士

慶応三年七月〜大正十三年五月三十一日 五十八

港区 松宮山専心寺 浄土宗 角柱香箱型スリン台

正面・三つ扇紋 二代目三遊亭圓遊墓 台石・吉田氏

柳亭市馬 味波庄太郎 皆大院法道日光信士?

生年不詳〜大正十三年頃か 六十前後か?

台東区 寂靜山蓮華寺 日蓮宗 六角香箱型蓮華台

正面・妙法 皆大院法道日光信士 右側面・法名三名

右奥側面・法名 一名 左側面・萩原金藏

背面・法名 一名

三代目古今亭今輔 村田政次郎 雄説院弁譽政岳居士

明治二年六月二七日〜大正十三年八月十八日

五十六 墨田区 東日山西光 浄土宗 角柱平頭型

スリン台 正面・家紋 村田家累代之墓 左側面・

雄説院弁譽政岳居士 大正十三年八月十八日

六代目三笑亭可樂 中村勘三郎 圓寿道勘信士

弘化三年九月十五日〜大正十三年八月十八日

七十九 豊島区 薬王山善養寺 天台宗

正面・中村累代之墓 左側面・大正三年秋九月建之

中村勘三郎・ほか 台石・中村

初代三遊亭圓右 沢木勘次郎 大通院圓柳日教居士

万延元年六月〜大正十三年十一月二日 六十五

豊島区 松龍山総禅寺 曹洞宗 墓碑・過去帳なし

(↓二代目三遊亭圓朝)

五代目桂文楽 増田のち金坂巳之助 演誉大法信士

元治元年 一月〜大正十四年四月十九日 六十二

葛飾区 貞林院瑞正寺(莊嚴山 功德院瑞正寺)

(雲晴山魚籃院貞林寺と瑞正寺を昭和五五年に合

併してできたお寺) 浄土宗 角柱香箱型 正面右・

星梅鉢紋 正面左・丸に結び柏紋 斎誓了頓信士 以

下難読右側面・金三両 桂才賀 台石・増田 井桁紋

花台・六つ槌車に一の字紋(春風亭傳枝は実弟

二代目桂才賀は実父) 過去帳あり

柳亭燕丸 桐ヶ谷長蔵 顕性法寿信士

天保十三年〜大正十四年十一月二十一日 八十四

大田区 妙玄山実相寺 日蓮宗 角柱香箱型

正面・桐ヶ谷家 累代之墓 左側面・七代目 桐ヶ谷

柳亭紫楽 山口敬一郎 釈浄楽信士

生年不詳〜大正十四年十二月十七日 享年不詳

杉並区 本光山善照寺 浄土真宗本願寺派

墓碑・過去帳なし

住職は嘶家の墓はない、過去帳に大正十四年十二

月十七日の死亡者なし、大正十四年三月山口敬三

郎あり、墓碑もあり。

四代目古今亭志ん生 鶴本勝太郎 浄誉新生居士

明治十年四月四日〜大正十五年一月二十九日 五十

墨田区 諸宗山回向院無縁寺 浄土宗 角柱香箱型

正面・鶴本家之墓 右側面・先祖代々之霊 法名三列

台石・鬼蔦紋(今松↓小助六↓志ん馬↓六代目馬生)

三代目三遊亭小圓遊 斎藤文太郎 春陽院法遊信士

明治二十八年(逆)〜大正十五年二月十六日 三十二

高崎市 松隆山恵徳寺 曹洞宗 角柱櫛型

正面・蜃気楼龍玉之墓 二代目蜃気楼龍玉は実父

二代目三遊亭金馬 碓井米吉 文山闡明居士

慶応四年六月〜大正十五年五月三日 五十九

港区 萬年山青松寺 曹洞宗 墓碑・過去帳なし

四代目都家歌六 井本亀之助 釈浄覚信士

明治五年三月六日〜大正十五年八月八日 五十六

港区 称名山西光寺 浄土宗 墓碑・過去帳あり

震災で墓碑破壊・遺骨は本堂の地下に合葬

初代浮世亭信楽 鈴木政吉 享楽院悟道信士

生年未詳〜昭和二年三月二日 享年未詳

墨田区 久遠山常泉寺 日蓮正宗 墓碑不明

四代目春風亭柳枝 飯森和平 春光院華柳日耀居士

明治元年九月〜昭和二年四月二十日 六十

墨田区 照法山本久寺 日蓮宗 角柱櫛型

正面・飯森家の墓 池之端 妙顕寺より改葬

(枝雀↓さん枝↓三代目柏枝↓初代小柳枝↓四代目

柳枝↓華柳)

一代目柳家つぼめ 浦出祭次郎 釈善称信士

明治九年二月十一日〜昭和二年五月三十一日

五十二世田谷区 白鳥山西蓮寺 真宗大谷派

角柱香箱型蓮華台 正面・家紋 浦出家の墓 台石・

柳家 香台・浦出 西蓮寺・昭和十四年当地へ移転

初代三遊亭圓歌 泉清太郎 圓浄清歌信士

明治九年六月十日〜昭和二年十月二十二日 五十二

台東区 瑠璃光山長久院薬師寺 真言宗豊山派

角柱平面型 正面・丸に鬼蔦紋 泉家累代々之墓

背面・大正十三年九月 泉清太郎建之

香台・丸に鬼蔦紋 香炉・泉氏

二代目三遊亭圓左 小泉巳之助 三法院喜月圓聲居士

明治十四年十月四日〜昭和三年四月五日 四十八

新宿区 金鶏山真成院 四谷靈廟 高野山真言宗

納骨堂

六代目林家正蔵 今西久吉 西香院久運林正居士

明治二十一年十一月五日〜昭和四年四月二十五日
四十二春日部市 かすかべ霊園七―三―三一

（荒川区法輪山浄光寺より改葬）宗教不問

角柱平頭型 正面・南無妙法蓮華經 右側面・六代目
林家正蔵 久修法吉信士 大正（マ）四年四月二十五
日 俗名 今西久吉 四十二才 台石 框内今西家
没年大正となつてゐるが石工の間違ひではないか
（春輔↓小燕枝↓）

昔々亭桃太郎 斎藤嘉吉 大乘院釈恵海居士

生年不詳〜昭和四年九月三十日 享年不詳

台東区 立隼山宗恩 寺真宗大谷派
墓碑・過去帳なし（二代目桃川如燕・文吉次男）

三遊亭遊雀 鈴木八三郎 法名不詳

生年不詳〜昭和五年十月二十四日 享年不詳

台東区 護国山天王寺 谷中霊園 天台宗 角柱平頭
型 正面・俱會一處 台石・三遊 背面・三遊亭遊林
明治三十年五月二四日 三遊亭遊雀 昭和五年十

月廿四日と記されている

三遊亭 一朝 片倉省吾 浄国院遊誉 一朝居士

嘉永二年〜昭和五年十一月十七日 八十三

台東区 清光山涼源寺 浄土宗 角柱香箱型

正面・一朝翁之墓 台石・框内 三遊亭 一朝
辞世 「あの世にも粹な年増がいるかしら」

（三代目圓藏↓初代小圓朝↓二代目圓樂↓）

三代目柳家小さん 豊島銀之助 実相院演暢法有信士

安政四年八月三日〜昭和五年十一月二十九日

七十四 豊島区 威光山法明寺 日蓮宗 角柱香箱型
豊嶋家之墓 香台・丸に三つ葵紋 墓誌・自然石花頭

框内 丸に三つ葵紋 豊島銀之助 昭和五年十一月二
十九日 妻さだ 昭和十一年十二月二十二日

（歌太郎↓小三治↓）

八代目朝寝坊むらく 釈山藤作 釈覚縁

明治十五年六月十九日〜昭和六年一月一日 五十

台東区 末木山勝運寺 浄土宗

九代目柳亭芝楽が愛知県浄仙寺 真宗大谷派より
勝運寺に改葬された墓碑現在なし(前住職迄あり)
過去帳あり(藤岳浄念信士)宗旨が違う為変えたのか
(四代目柳昇↓二代目小柳枝↓柳昇↓)

六代目春風亭柳枝 松田幸太郎 春風院快謡日幸居士

明治十四年 一月〜昭和七年三月 一日 五十二

横浜市 久保山墓地 宗教不問 角柱香箱型

正面・下がり藤紋 先祖代々緒積霊 左側面・施主

松田幸太郎 台石・松田

三遊亭圓晃 柴田啓三郎 慈光院浄啓信士

明治三十八年(逆)〜昭和八年 一月五日 三十

世田谷区 春陽山永隆寺 法華宗本門流 角柱香箱型

正面・柴田家 寺田家之墓 圓晃と圓生は異父兄弟

柴田セイは圓生の実母で寺田寅吉と結婚。

圓晃が生れる

六代目雷門助六 青木鏡太郎 覺院法音日鏡居士

明治十六年九月九日〜昭和九年五月六日 五十二

杉並区 長廣山立法寺 日蓮宗 角柱平頭型

正面・青木家之墓 平成八年六月確認 現在墓碑なし
杉並区 日円山妙法寺 法華経単立 実子八代目助六
が青木家から岩田家に改葬する 正面・岩田家之墓

五代目立川談志 恒川駒吉 本壽宗要信士

安政五年(逆)〜昭和十七年三月二十三日 八十四

世田谷区 本覚山妙寿寺 法華宗本門流(震災後江

東区から移転) 墓石番号B―あ 角柱香箱型 正面・

中陰光琳蔦紋 先祖代々之墓 台石・恒川

墓碑・五代目立川談志 恒川駒吉墓所

恒川駒吉 法号・本壽宗要信士

昭和十七年三月二十三日没 享年八十四才

当山檀家恒川駒吉は安政五年に生を享れる明治十
年頃立川談志の門に入り、明治二十三年に談志を継
ぐ。大正五年頃三遊亭圓右の門で三遊亭右之字とな
り一旦引退する。大正十年頃三遊亭金馬の門で三遊

亭金駒になり復帰する大正末は金語楼 一座で柳家金太夫の名で昭和十年頃まで名簿に見える。談志の頃か最盛期で「ねぎまの殿様」の噺の作者として著名である。この噺を大の得意としていた故五代目古今亭今輔師匠は次の名言を残した「この噺をやる時は必ずお参りします。それがため無縁になりません。落語をひとつ残しておく、だれかがやりますと墓参りに参ります。それが著作権でございます」墓守のおじいさんは、今輔をよく覚えていた「お花を持って、よくお参りに見えました。あの方が亡くなってから無縁みたいになった」

四代目五明楼玉輔 原新左衛門 清明院玉輔信士

安政四年十月〜昭和十年五月二十四日 七十九
荒川区 関妙山善性寺 日蓮宗 角柱香箱型スリン台
八曜紋 五明楼玉輔 左側面・昭和十年九月三十日
柳家金語楼建之 右側面 清明院玉輔信士 昭和十年五月廿四日 「小言念仏の玉輔」

初代橘ノ圓 五十嵐銀次郎 清浄院橘圓日香居士

明治三年〜昭和十年六月二十九日 六十六
新宿区 本光山清隆寺 日蓮宗 角柱香箱型
正面右側・橘ノ圓 左側・立花家橘之助 真中・之墓
花立・五十嵐 石田 立花家橘之助と同葬 背面・
昭和三十四年建之 芸術協会・落語協会 有志

初代立花家橘之助 石田美代 清心院妙橘日周大姉

慶応四年七月二十七日生〜昭和十年六月二十九日
六十八 新宿区 本光山清隆寺 日蓮宗 角柱香箱型
正面右側・橘ノ圓 左側・立花家橘之助 真中・之墓
花立・五十嵐 石田 背面・昭和三十四年建之

芸術協会・落語協会 有志 初代橘ノ圓と同葬
都の被害で死亡 榎本滋民 「ためき」のモデル

橘楽之塚 杉並区 頂光山蓮光寺 日蓮宗 一mほど

の自然石 正面・橘楽之塚 右側・立花家橘之助門弟
圓遊・圓右・圓橘・圓左・福圓遊・金馬・小圓朝
圓喬・遊三・むらく・圓輔・談志・小遊三・圓□
華玉川・花堂・半橘・橘童・橘三郎・亀楽・石田良周

橘寿・橘根・橘松・橘代・橘如・橘栄 背面・明治三十九年七月建之 扱 立花家橘之助 三遊亭新橘

二代目談洲楼燕枝 町田銀次郎 銀法院燕信 日覺居士

明治二年二月二十五日〜昭和十年七月六日

六十七 墨田区 久遠山常泉寺 日蓮正宗 角柱香箱

型 正面框内・丸に四つ目紋 妙法 法名六名

右側面・法名五名 台石・框内町田

(二代目小三治↓三代目小燕枝↓柳亭燕枝↓)

四代目古今亭今輔 中島市太郎 釈真淨

明治十九年五月二十一日〜昭和十年七月二十三日

五十 台東区 向岡山忠綱寺 真宗大谷派

角柱香箱型 正面・中島家之墓 左側面・釈真淨

昭和十年七月廿三日 俗名中島市太郎 行年 五十才

背面・昭和十年八月 中島久□□建之

桂紅雀 高原萬藏 演暢院日萬信士

生年不詳〜昭和十二年七月十五日 享年不詳

杉並区 如説山修行寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし

初代柳家三語楼 山口慶二 隆光院義観明慶居士

明治八年三月〜昭和十三年六月二十九日 六十四

横浜市 根岸共同墓地 大圓寺(日蓮宗)(横浜増徳院

より平成十九年移転) 角柱香箱型スリント台

正面・家紋 右側・隆光院義観明慶居士

左側・真光院慈観妙勝大姉

右側面・昭和十三年六月二十九日 山口慶二 六十四才

昭和 八年四月二十一日 山口カツ 五十六才

左側面・法名二名 背面・昭和八年七月建之 山口慶二

三遊亭金勝 山下稻太郎 浄楽院遊遊日稻居士

明治十二年四月〜昭和十四年一月十四日 六十一

品川区 妙建山本立寺 日蓮宗 五輪塔型

台石・山下家(柳家金語楼実父)

五代目三升家小勝 加藤金之助 三宝院勝得日升居士

安政五年六月六日〜昭和十四年五月二十四日

八十二府中市 本妙山大長寺 日蓮宗

(麻布より移転)

角柱香箱型スリン台 正面・家紋 先祖累代の墓

左側面・大正七年三月建之 五代目三升亭小勝

橘家小圓藏 染野高之助 高雲慧潤信士

生没不詳 享年不詳 文京区 大智山海藏寺 曹洞宗

角柱平頭型 正面・家紋 染野家之墓 右側面・高雲慧

潤信士 昭和十四年九月廿一日建之

現在墓所が無く、無縁仏の前に墓碑が置いてある

五代目三遊亭圓生 村田源治 圓寿院浄生日遊居士

明治十七年十月ゝ昭和十五年 一月二十三日 五十七

世田谷区 春陽山永隆寺 法華宗本門流 角柱香箱型

正面・丸に三つ葵紋 村田家之墓 右側面・圓壽院浄

生日遊居士 昭和十五年 一月二十三日 俗名 村田源

治行年 五十七才 五代目 三遊亭圓生 昭和十五年

一月二十三日 五代目橘家圓藏 六代目圓生義父

圓生記の碑(台東区全生庵 圓朝墓碑の右脇)

五代 四代目圓生門人四代橘家圓藏 「品川ニ住ス」

ノ門人 五代圓藏ヨリ圓生 圓寿院浄生日遊居士

昭和十五年 一月廿三日歿 五十七才 村田源治

その他圓生代々の碑刻字は初代三遊亭圓生参照

七代目春風亭柳枝 渡辺金太郎 東膠院釈柳枝居士

明治二十六年九月ゝ昭和十六年 一月十四日 四十九

新宿区 松雲山西応寺 真宗大谷派 角柱なで型

正面・七代目春風亭柳枝墓 花台・春風亭柳枝

右側面・東膠院釈柳枝居士

初代柳家蝠丸 関口由三郎 慈眼院誠心由然居士

明治十六年?ゝ昭和十八年十月二十四 六十一?

港区 崑崗山玉窓寺 曹洞宗 角柱櫛型 正面・関口家

代々之墓 台石・丸に違い軍配紋 十代目文治の墓碑

の隣 十代目桂文治は実子

八代目金原亭馬生 小西万之助 詮舒信士

明治二十九年九月七日ゝ昭和十八年十一月七日

四十八 台東区 浄雲寺 浄土真宗本願寺派

角柱平頭型 正面・小西家之墓 左側面・昭和十八年十一月七日 八代目金原亭馬生事 小西万之助

二代目桂三木助

松尾福松 鶴寿院宗演日福信士

明治十七年十一月二十七日〜昭和十八年十二月一日 六十 台東区 延寿山長久寺 日蓮宗 角柱なで型

正面・松尾 竹澤家之墓 台石・框内三つ柏紋と

鬼蔦菱紋 香炉・松尾竹澤 背面・昭和二十三年六月 善苗主 岡村美代 建之

三遊亭清遊

竹内孝太郎 信妙院遊阿弥即真居士

明治十二年六月二十一日〜昭和十九年一月二十五日 六十六 台東区 護国山天王寺 谷中靈園 天台宗

圓遊墓碑の隣 正面・角柱櫛型 框内 四つ割り菱紋

右側・信妙院遊阿弥即真居士 左側信正院妙諦日柳大姉 右側面・昭和十九年一月二十五日 二世宗家

若柳吉藏事 竹内孝太郎 行年六十六才（清遊↓

若柳流二代目家元若柳吉藏 初代圓遊美子）

七代目三笑亭可樂

玉井長之助 可笑院釈長樂居士

明治十九年一月三十一日〜昭和十九年四月十二日 五十九 台東区 波宇山明順寺 真宗大谷派

角柱香箱型 正面・七世 三笑亭可樂之墓 右側面・

可笑院釈長樂居士 昭和十九年四月十二日歿

俗名玉井長之助 行年五十九歳 左側面・昭和廿七年四月建之 玉井孝太郎

八代目入船亭扇橋

進藤大次郎 入船亭扇橋老翁居士

慶応元年五月二十七日〜昭和十九年十月八日

八十 練馬区 田島山本性院 浄土宗 角柱笠塔婆型

正面・家紋 框内・進藤氏先祖代々之靈

下台石・俱會 一處

橘家文三

町井定吉 温厚徳誉信士

明治四年一月二十五日〜昭和十九年十二月二十日

七十四 葛飾区 恵田山正覺寺 真言宗豊山派

角柱香箱型 正面・町井家之墓 花台・家紋 右側面・

温厚徳誉信士 昭和十九年十二月二十日歿

行年七十四才 定吉 法名他六名

改名十六回、五代目志ん生とタイ記録

三代目三遊亭圓遊

伊藤金三 悟道院圓遊 日金居士

明治十一年八月二十八日〜昭和二十年三月十七日

六十八 荒川区 法要山啓運寺 法華宗本門流

角柱香箱型 正面・伊藤家之墓 花台・庵木瓜紋

香台・伊藤

四代目柳家枝太郎

嶋田信吉 天楽院応誉即居士

明治十年十月三日〜昭和二十年五月二十六日

六十九 文京区善龍山常德寺 浄土宗

正面・島田家之墓 左側面・島田家先祖累代之諸靈位

天楽院応誉即居士 昭和二十年五月二十六日 俗名

信吉 深信院徳誉勝演柳枝居士 昭和三十四年十月

八日 俗名 勝巳(八代目春風亭柳枝)ほか四名

八代目柳枝実父

九代目司馬龍生

浦島四郎 実行院法要信士

明治十六年四月十五日〜昭和二十一年三月二十六

日 六十四 台東区 泰昭山壽仙院(常楽寺) 日蓮宗

墓石・過去帳なし。 寿仙院は慶印寺塔頭として創建

されました当初仙林坊と称していましたが天明五

年寿仙院と改称、慶印寺は、顕本法華宗長遠山常楽

寺として、新宿原町に移転

五代目金原亭馬生

宮島市太郎 常住院法台信士

元治元年(逆)〜昭和二十一年四月十五日 八十三

新宿区 春時山法善寺 日蓮宗 大型自然石

本名宮島市太郎 五代金原亭馬生 昭和廿一年四月

十五日歿 行年八十三才 常住院法臺信士 花立・

宮島家墓は木下氏と刻字 宮島六郎と言う方が持

っている墓碑には常磐津連中の名が多くあり

「赤馬生」

四代目柳家小さん

平山菊松 高秋院松韻 日久居士

明治二十一年四月十八日〜昭和二十二年九月三十

日 六十才 台東区 榮源山本寿寺 日蓮宗

角柱香箱型 正面・丸に三つ足橘紋 平山家之墓

右側面・高秋院松韻日久居士 昭和二十二年九月三十日

四代目柳家小さん 平山菊松 ほか一名

(四代目蝶花楼馬楽↓)

初代桂小南 若田秀吉 精秀院桂誉小南居士

明治十三年五月二十四日〜昭和二十二年十一月二

十一日 六十八 台東区 大道山興禪寺 臨済宗興聖

寺派 角柱平頭型スリン台 正面・丸に鬼蔦紋 若田

家之墓 背面・昭和十五年二月二十九日

若田秀吉建之 右側面・精照院念譽壽邦大姉

昭和十四年十一月廿二日 行年 五十九才

九代目金原亭馬生 小林捨吉 釈長桂馬生

明治二十年 一月十三日〜昭和二十四年 一月一日

六十二 台東区 潜龍山東淵寺 臨済宗妙心寺派

角柱香箱型 正面・花菱紋 九代目金原亭馬生之墓

台石・登田(六代目馬生)大阪↓浅草亭馬道↓

七代目林家正藏 海老名竹三郎 正恵院釈讃良意居士

明治二十七年三月三十一日〜昭和二十四年十月二

十六日 五十六 足立区 佛名山常福寺 真宗大谷派

角柱櫛型 正面・海老名家之墓 背面・昭和三十六年

九月 海老名泰 一郎建之 香台・四つ唐花紋 墓誌・

七代目林家正藏 正恵院釈讃良意居士 ほか二名

初代目(マ)林家三平 志道院釈誠泰 昭和五五年

九月二十日 俗名 海老名泰 一郎

三代目三遊亭歌笑 高水治男

三遊院純誉拈萃歌笑居士 大正六年九月二十二日〜

昭和二十五年五月三十日 三十四 あきる野市 鳳凰

山玉林寺 臨済宗建長寺派 角柱平頭型

台石・自然石 正面・三遊亭歌笑之墓 右側面・框内

三遊院純誉拈萃歌笑居士 昭和廿五年五月三十日歿

高水治男 三十四才

荒川区栄法山浄閑寺 浄土宗に実篤書の歌笑塚あり。

あきるの市黒茶屋にも歌笑の碑があり、渥美清書の

歌笑純情詩集より 「豚の夫婦」

五代目柳亭燕路 武田新之助 信道院燕路信士

明治十八年十二月二十八日〜昭和二十五年六月二

十五日 六十四 台東区 究竟山妙情寺 日蓮宗

角柱香箱型 正面・武田家之墓 左側面・法名二名

現在墓石なし

二代目蜃気楼龍玉 斎藤愛之助 龍山玉泉居士

慶応三年 一月十日〜昭和二十五年七月四日 八十三

高崎市 松隆山恵徳寺 曹洞宗 角柱櫛型

正面・蜃気楼龍玉之墓

二代目三遊亭圓右 沢木松太郎 松嶽良清居士

明治二十四年十一月二十八日〜昭和二十六年八月

二十七日 七十四 豊島区 松龍山総禅寺 曹洞宗

墓碑・過去帳なし

六代目立川談志 竹内栄次郎 釈栄敬信士

明治二十一年十二月十八日〜昭和二十七年二月七

日 六十五 世田谷区 天護山妙祐寺 浄土真宗本願

寺派 角柱平頭型 正面・竹内家之墓 背面・法名四名

の内二行目 四代目立川談志 昭和二十七年二月七

日(四代目と刻字)文京区 青柳山興安寺

に過去帳あり

柳家小はん 鶴見正四郎 法名不詳

生年不詳〜昭和二十八年二月六日 享年不詳

東京都多磨霊園 二二区 一種六側 宗教不問 洋式墓

碑 正面・鶴見家之墓 背面・昭和二十八年七月

鶴見正彦建之 墓誌・正四位勲三等 鶴見正四郎

柳家小はんの法名・高座名は刻字なし

三代目柳家つぼめ 宮尾正造 演誉正説本流信士

明治十七年九月十七日〜昭和十七年二月十五日

五十九 葛飾区 弘誓山大秀寺 浄土宗 角柱香箱型

正面・宮尾家之墓 背面・宮尾正造建之 昭和十五年

三月 (宮尾たかしの実父)

五代目柳亭左楽 中山千太郎 柳條院讃譽五代目左

樂居士 明治五年三月五日〜昭和二十八年三月二十

五日 八十二台東区波宇山明順寺 真宗大谷派

角柱香箱型 スリン台・猫足 台石・中山 正面・

柳條院讃譽 五代目左楽居士 背面 昭和二十七年十

二月建之 「当寺にあるお地藏さまは、八代目文楽

師匠が所蔵していたもので、左楽師匠に相談のうえ

明順寺に寄贈されたものです。お地藏さまの足元

には、合掌している童子、泣いている童子、怒ってい

る童子があり、大変めずらしいものです」

初代柳家権太楼 北村市兵衛 法照院真譽道秀居士

明治三十年十月二十日〜昭和三十年二月八日

五十九 台東区 普照山正定寺 浄土宗 角柱香箱型

正面・丸に三つ鳶 南無阿彌陀佛 花立・北村氏

「金魚さえ希望あるらし鉢の中、意志のごとくに行

動している」

八代目桂文治 山路梅吉 慈徳院釈文誉居士

明治十六年一月二十一日〜昭和三十年五月二十日

七十三 港区 桜田山光円寺 真宗大谷派 角柱香箱

型 正面・結び 柏紋 山路家之墓 右側面 昭和十四

年五月 八世 桂文治 再建 花台・框内 結三柏紋 香

立・山路家 「馴れすぎた芸のさびしき恰かな」 龍雨

(三遊亭小圓馬↓七代目翁家さん馬↓)

三代目柳亭燕枝 新藤勝利 徳誉燕枝信士

明治二十七年十二月三日〜昭和三十年七月十九日

六十二 練馬区 田島山本性院 角柱笠塔婆型 正面・

家紋 框内・進藤氏先祖代々之霊 下台石・俱會一處

(八代目入船亭扇橋の実子)

鶯春亭梅橋 松岡勤治 釈梅橋信士

大正十五年九月〜昭和三十年十月二十七日 三十

墓所不詳(桃源亭花輔↓) 都筑道夫は実弟

三代目柳亭市馬 柴田一 清岸 一道信士

明治三十五年二月二十日〜昭和三十年十二月二十

八日 四十四 足立区 白幡山不動院薬師寺 新義真言宗 角柱香箱型 正面・柴田家の墓 右側面・

法名五名 花立・丸に片喰紋（四代目三遊亭圓楽↓）

三代目春風亭柳好 松本亀太郎 常在院法隆日亀居士

明治二十一年四月二十四日〜昭和三十一年三月

十四日 六十九 世田谷区 妙祐山幸龍寺 日蓮宗

角柱香箱型 正面・先祖代々の墓 背面・昭和七年

十二月建之 松本亀太郎 玉井

柳亭雛太郎 斎藤庸司 淨信院釈明證居士

大正五年〜昭和三十一年四月一日 四十一

横浜市 相沢靈園 蓮光寺域（浄土真宗大谷派）

斎藤家の許可なしでは墓地に入れないと住職

過去帳あり 墓碑もある？

翁家さん次 橘萬次郎 音淨萬覺居士

明治十五年十二月二十二日〜昭和三十三年三月十

九日 七十七 台東区本覺山自性院 新義真言宗

角柱香箱型 正面・梵字（ア 大日如来）橘家の墓

側面・音淨萬覺居士 昭和三十三年三月十九日

相如実成信女 三列目・清壽院芹経温潤大姉

昭和五十七年七月十七日 下座・橘つやの夫

柳家小半治 田代藤太郎 至芸院柳光信士

明治三十一年六月十五日〜昭和三十四年一月九日

六十 新宿区 長遠山常樂寺 顕本法華宗 自然石

正面・法名十名あり

台東区 楞伽山天眼寺（義父 初代浪花亭峰吉の墓）

五代目三遊亭圓橘 豊永豊太郎 永徳院法正信士

明治十七年十一月五日〜昭和三十四年六月二十三

日 七十六 墨田区 久遠山常泉寺 日蓮正宗

F―九―四にあったが、現在は墓碑なし

一代目柳家小せん 上原六三郎 覺照院釈道光信士

明治二十七年九月十五日〜昭和三十四年八月十二

日 六十六 台東区 高龍山報恩寺 真宗大谷派

角柱平頭型スリン台 框内・上原家之墓 左側面・
昭和五十七年八月 上原□□□建之 台石・丸に蔦紋

十六日 六十 台東区 蓮葉山観音寺 真言宗豊山派
角柱なで型 正面・三つ木の字紋 先祖代々之墓
台石・小林 花立・姿見楼

八代目春風亭柳枝 島田勝巳 深信院徳誉勝演柳枝

右側面・大正四年十二月廿一日建之（橘ノ圓↓）

居士 明治三十八年十二月十五日〜昭和三十四年

十月八日 五十五 文京区 善龍山常德寺 浄土宗

四代目古今亭志ん馬 金川利三郎 法名未詳

角柱平頭型 正面・島田家之墓 下台石・家紋 左側

明治二十三年三月二十六日〜昭和三十六年八月

面・島田家先祖累代之諸靈位 深信院徳誉勝演柳枝

二日 七十二 台東区 瑠璃光山長久院薬師寺

居士 昭和三十四年十月八日 俗名 勝巳

日蓮宗 墓碑・過去帳なし

天楽院応誉即居士 昭和二十年五月二十六日 俗名

信吉(柳家枝太郎)ほか法名四名 柳家枝太郎は実子

四代目柳家つぼめ(女)深津龍太郎 柳浄院釈淵龍居士

明治二十五年二月三日〜昭和三十六年十月十二日

五代目立川ぜん馬 鳥井兼吉 信浄法兼信士

七十 台東区 波宇山明順寺 真宗大谷派 墓碑なし

明治十九年四月十九日〜昭和三十五年四月八日

七十五 品川区 自覚山海徳寺 日蓮宗 角柱兜巾型

七代目雷門助六 島岡大助 釈明信然信士

無縁墓碑の中にありその他不明

明治三十一年十一月二十四日〜昭和三十六年十一

月十九日 六十四 港区 南江山経覚寺 浄土真宗本

三代目桂三木助 小林七郎 桂樹院義演浄三居士

願寺派 角柱平頭型 正面・島岡家之墓

明治三十五年三月二十八日〜昭和三十六年一月

台石・丸に梅鉢紋

七代目春風亭小柳枝 染谷晴三郎 高嶽院樂圓柳道

居士 大正十年一月二日〜昭和三十七年九月二十七日

日 四十二 野田市 愛宕山西光院 真言宗豊山派

角柱香箱型 正面・先祖代々之墓 台石上・染谷家

下・丸に違い鷹の羽紋 墓誌・高岳院樂圓柳道居士

昭和三十七年九月二十七日 染谷晴三郎 四十二才

五代目三遊亭圓窓 村田仙司 法名不詳

明治二十二年五月七日〜昭和三十七年十二月

三十一日 七十四 世田谷区 春陽山永隆寺

法華宗本門流 角柱香箱型 正面・丸に三つ葵紋

村田家之墓（五代目圓生実弟）

（圓彌↓圓窓↓圓左↓）

二代目三遊亭遊三 渡辺吉寿 光寿院釈遊理居士

明治十四年一月二十八日〜昭和三十八年三月二十

三日 八十二 新宿区 分應山常敬寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・渡邊家之墓 右側面・光壽院釋遊

理居士 昭和三十八年三月二三日 俗名 渡辺吉寿

八十二才 花台・鬼蔦紋

九代目鈴々舎馬風 色川清太郎 勇心院德譽馬風居士

明治三十七年八月三十日〜昭和三十八年十二月十

五日 六十 台東区 光明寺（大正十五年西光寺と合

併）浄土宗 角柱香箱型 正面・笹竜胆紋 先祖代々

之墓 左・法名一名 花台・色川 香台・色川

一代目三遊亭百生 小河真之助 常樂院至芸日生居士

明治二十八年十月三日〜昭和三十九年三月三十一

日 七十 新宿区 大日本獅子吼会 法華宗本門流

納骨堂

八代目三笑亭可樂 麴池元吉 清雅院真覺大夢居士

明治三十一年一月三日〜昭和三十九年八月二十三

日 六十七 台東区 大道山興禪寺 臨濟宗興聖寺派

角柱香箱型 正面・太輪に片喰紋 聖應院仁貞省心居

士 右側面・明治廿九年五月五日歿 左側面・清雅院

真覺大夢居士 昭和三十九年八月二十三日 八代目

三笑亭可樂 俗名麴池元吉 行年六七才
通欄 麴池省三 脇に自然石・麴池氏墓

二代目三遊亭円歌 田中利助 利得院釈圓淨

明治二十四年四月二十八日〜昭和三十九年八月二十五日 七十三 台東区 東本願寺 浄土真宗東本願寺派本山 角柱平頭型 正面・田中家之墓

花立・丸に片喰紋

墓碑・先祖代々之靈利得院釈圓淨昭和三十九年八月二十五日 二代目三遊亭円歌 俗名田中利助

享年七十三才 他三名

三代目三遊亭金馬 加藤専太郎 暁風院金網透鱗大

居士 明治二十七年十月二十五日〜昭和三十九年十

一月八日 七十一 台東区 桃雲山永見寺 曹洞宗

角柱香箱型 正面・丸に蕨紋 加藤家 歴代之墓

左側面・昭和三十年十一月再建 施主 三遊亭金馬事

加藤専太郎 香台・丸に蕨紋

柳家きん(金)平 西川七郎 勝芸院已得七道居士

大正十二年(逆)〜昭和四十一年四月二十四日

四十四 川越市 星野山喜多院 天台宗 角柱平頭型

スリン台 正面・違い鷹の羽紋 西川家之墓

墓誌・勝芸院已得七道居士

昭和四十一年四月二十四日 四十四才

二代目桂小文治 稲田祐次郎 芸能院桂小文治居士

明治二十六年三月二十八日〜昭和四十二年十一月

二十八日 七十五 台東区 東叡山寛永寺第一靈園

天台宗 角柱なで型 正面・稲田家之墓 右側面・昭和

四十二年十一月二十八日歿 芸能院桂小文治居士

俗名 稲田祐次郎 享年七十四歳 台石・四つ片喰紋

柳家梧楼(万吉) 寄木昇 昇閣院遍譽周樂空居士

明治二十七年十二月十二日〜昭和四十二年七月三

十日 七十四 台東区 光明寺(大正十五年西光寺と

合併) 浄土宗 角柱なで型 正面・寄木家之墓

右側面・昇閣院遍譽周樂空居士 昭和四十二年七月

三十日 寄木昇 七四才 他三名

台石・丸に左三階松（漫才師・リーガル万吉）

十四日 六十九 新宿区 本光明山大願寺 日蓮正宗
過去帳・墓碑なし（三代目柳家小せん↓）

九代目土橋亭里う馬 黒柳吉之助 法名不詳

明治二十五年三月三日〜昭和四十三年十二月五日
七十七 「十代目土橋亭里う馬」の話。襲名して二・三年まで遺族に挨拶していたがもう来ないようにと言われた。遺族の行方は現在不明 墓所には行っていないので分らないとの事

昔々亭桃太郎 山下喜久雄 笑覚院昔桃日喜信士

明治四十三年一月二日〜昭和四十五年十一月五日
六十一 品川区 妙建山本立寺 日蓮宗 角柱香箱型
正面・家紋 南無妙法蓮華經 右側面・法名 一名 現在
この墓碑は無い以下に改葬された。五輪塔型 台石・山下家（柳家金語楼は実兄）

二代目古今亭甚語楼 田中秀吉 達誉秀粹信士

明治三十六年四月十二日〜昭和四十六年 一月

八代目桂文楽 並河益義 桂春院文楽益義居士

明治二十五年十一月三日〜昭和四十六年十二月
十二日 八十 世田谷区 東光山妙法寺 日蓮宗
角柱香箱型 正面・八代目桂文楽之墓 右側面・
辞世 「いま更にあばらかべっそんの 恥ずかしさ」
左側面・昭和四十六年十二月十二日 俗名並河益義
行年七十九才 ほか法名三名 台石・三ツ割桔梗紋
鹿児島市 高野山**最大乗院**に自然石に 「さまざまに
かわり榮える いゝ男」桂文楽書の碑がある。
（翁家馬之助↓）

六代目三升家小勝 吉田邦重 慈観院楽説日勝居士

明治四十一年八月三日〜昭和四十六年十二月二十
九日 六十四 台東区顕寿山仏心寺 日蓮宗
角柱香箱型 七宝に片喰紋 吉田家之墓
右側面・慈観院楽説日勝居士

昭和四十六年十二月廿九日 邦重 六十三才

左側面・昭和三十三年五月 六代目三升家小勝建之

柳家金語楼 山下敬太郎 金語楼笑里日敬居士

明治三十四年二月二十八日〜昭和四十七年十月

二十二日 七二品川区 妙建山本立寺 日蓮宗

五輪塔型 台石・山下家（昔々亭桃太郎は実弟）

八代目翁家さん馬 菅谷徳之助 法名不詳

明治二十一年十二月十四日〜昭和四十八年五月

十五日 八十四 墓所不明

三代目三遊亭小圓朝 芳村幸太郎 釈幸圓信士

明治二十五年八月八日〜昭和四十八年七月十一日

八十二台東区 叡龍山浄林寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・芳村家之墓 右側面・釈幸圓信士

昭和四十八年七月十一日 他 一名 左側面・昭和四十

三年七月芳村孝太郎建之（二代目小圓朝は実父）

五代目古今亭志ん生 美濃部孝蔵 松風院孝誉彩雲

志ん生居士 明治二十三年六月二十八日〜昭和四十

八年九月二十一日 八十四 文京区 安養山環國寺

浄土宗 角柱平頭型 正面・美濃部家之墓 花台・丸に

裏梅 香台・美濃部 墓誌・美濃部家先祖代々之靈位

松風院孝誉彩雲志ん生 居士昭和四十八年九月二

十一日 光風院楽誉観月志ん朝居士 平成十三年十

月一日 他 一名（七代目金原亭馬生）

五代目柳家つばめ 木村栄次郎 誓願院釈導榮燕居士

昭和四年四月三十日〜昭和四十九年九月三十日

四十六港区 福泉寺 浄土真宗本願寺派 角柱平頭

型 正面・木村家之墓 右側面・五代目柳家つばめ

誓願院釋導榮燕居士 俗名木村栄次郎 昭和四十九

年九月三十日歿 行年 四十五才 台石・花立・四方木

瓜紋 香立・木村

初代金原亭馬の助 伊藤武 落心院武徹語道居士

昭和三年四月九日〜昭和五十一年二月六日 四十九

八王子市 東京靈園二十二区・〇三列・〇二五号

宗教不問 角柱平頭型 正面・伊藤家之墓 右側面・

落心院武徹語道居士昭和五十一年二月六日歿 伊藤

武事金原亭馬の助 四十八才 他一名 花台・丸に違

い鷹の羽紋 香台・伊藤 伊東(×)↓伊藤(正)

三遊亭朝之助 福石三郎 法名不詳

昭和十一年三月〜昭和五十一年四月七日 四十一

大田区 常呂山自性院 真言宗智山派 角柱平頭型

花台・家紋右側面・昭和五十三年 施主 福石

五代目古今亭今輔 鈴木五郎 顯性院綜芸悟道居士

明治三十一年六月十二日〜昭和五十一年十二月十

日 七十九 新宿区 金剛山顯性寺 真言宗豊山派

角柱なで型 正面・鈴木家之墓 花台・違い鷹の羽紋

四代目柳亭春楽 井口林太郎 林泉常楽居士

明治三十五年八月三日〜昭和五十二年八月四日

七十五 台東区 金輪山最勝寺總持院(谷中不動尊)

天台宗 平頭角柱型 正面・丸に井桁紋
井口家歴代之墓

七代目橘家圓太郎 有馬寅之助 法名不詳

明治三十五年十二月二十日〜昭和五十二年八月

十五日 七十六 墓所不明

八代目柳家小三治 高橋栄次郎 深誉浄栄居士

明治三十四年六月三十日〜昭和五十二年十一月二

十七日 七十七 墨田区 諸宗山回向院無縁寺

浄土宗 角柱香箱型 正面・高橋家之墓 左側面・

本人入つて四名の法名 台石・丸に三つ柏紋

二代目桂枝太郎 池田芳次郎 倶楽院桂蒼枝芳居士

明治二十八年五月七日〜昭和五十三年三月六日

八十四 台東区 金剛山龍宝寺 天台宗 角柱平頭型

正面・池田家之墓 右側面・倶楽院桂蒼枝芳居士

昭和五十三年三月六日 桂枝太郎 俗名 池田芳次郎

台石・覗き桔梗紋

九代目桂文治 高安留吉 桂嘯院文翁治道居士

明治二十五年九月七日〜昭和五十三年三月八日

八十四 台東区 望湖山玉林寺 曹洞宗 角柱平頭型

正面・有喜院仙巖貞壽大姉 右側面・昭和三十年

十月八日建之 九代目翁家さん馬 台石・高安

花台・丸に左三つ巴紋（九代目翁家さん馬↓）

六代目春風亭柳橋 渡辺金太郎 春光院慶譽樂風柳

橋大居士 明治三十二年十月十五日〜昭和五十四年

五月十六日 八十 練馬区 称念山仲台寺 浄土宗

角柱平頭型正面・渡邊家之墓 側面・昭和五十四年

五月十六日 享年七十九才 春光院慶譽樂風柳橋大

居士 渡邊金太郎 芸名 春風亭柳橋

六代目三遊亭圓生 山崎松尾 松寿院圓生日榮居士

明治三十三年九月三日〜昭和五十四年九月三日

八十 世田谷区 春陽山永隆寺 法華宗本門流

角柱平頭型 正面・山崎家之墓 右側面・松壽院圓生

日榮居士 六代三遊亭圓生 昭和五十四年九月三日

七十九才 背面・昭和四十八年三月 山崎松尾 建之隣に五代目圓生の墓、手前左に柴田家寺田家の墓

圓生記の碑（全生庵圓朝墓碑の右脇）碑の背に

六代 品川圓藏門人五代目圓生息 山崎松尾 昭和

卅年十一月 六代圓生考證 松寿院圓生日榮居士

昭和五十四年九月三日 行年七十九才

法名・没日・行年が後日刻字されたようです。

圓生代々の碑は初代三遊亭圓生の項参照

圓生 二家 柴田は六代目圓生の実母である 「柴田セ

イ」が、圓生の実家の松田家で働いていた 「寺田

寅吉」と一緒になる。実父が「松田万助」。実母が

「柴田セイ」。養母が「山崎サダ」。戸籍外の義父

が「五代目三遊亭圓生(村田源治)」。異父弟が「橋

家圓晃(柴田啓三郎)」。義理の叔父が「三代目三遊

亭圓左(圓窓)事村田仙治」。本人は「山崎松尾」

六代目圓生終焉地碑 千葉県習志野市

習志野文化ホール(旧・サン・ペデックホール)

自然石 「根無し草 語る浮世を 圓く生き」 圓生

落語協会会長（四代目圓窓↓六代目圓藏↓）

柳家緑朗(千太) 富田寿 寿光院釈正居士

明治三十四年七月二日〜昭和五十五年五月十日

八十 新宿区 分應山常敬寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・富田家之墓 花台・丸に橘紋

(漫才師リーガル千太)

七代目橘家圓藏 市原虎之助 圓融院宝楽日寅居士

明治三十五年三月二十三日〜昭和五十五年五月十一日

七十九 横浜市 本牧山妙香寺 日蓮宗

角柱香箱型 正面・七代目橘家圓藏

墓誌・圓融院法楽日寅居士 昭和五十五年五月十一日

俗名 市原虎之助 行年七十八才 「泣きやんで笑

れてから己がわらい」 圓鏡(四代目月の家圓鏡↓)

初代林家三平 海老名泰一郎 志道院釈誠泰

大正十四年十一月三十日〜昭和五十五年九月二十

日 五十六 足立区 佛名山常福寺 真宗大谷派

角柱櫛型 正面・姥名家之墓 背面・昭和三十六年九

月 海老名泰一郎建之 香台・四つ唐花紋

墓誌・七代目 林家正藏 正恵院釈讃良意居士 ほか二

名 初代目(マヅ)林家三平 志道院釈誠泰 昭和五十

五年九月二十日 俗名 海老名泰一郎 昭和の爆笑王

四代目三遊亭小圓遊 関根尚雄 欣笑院円覚尚道居士

昭和十二年八月三日〜昭和五十五年十月五日

四十四 台東区 東叡山寛永寺第二靈園新中央二五

五 天台宗 角柱平頭型 関根家之墓 花台・家紋

右側面・昭和五十五年十月五日 三遊亭小円遊

関根尚雄 四十四才 「ギザの小圓遊」

春風亭枝雀 松田福次郎 緑風院枝玄尚福居士

明治三十二年四月一日〜昭和五十六年六月二十三

日 八十二 墓所不明

春風亭 一柳 長坂静樹 信経院 一柳日静信士

昭和十年十月十二日〜昭和五十六年七月九日

四十五 南アルプス市 常教山行善寺 日蓮宗

角柱笠塔婆型 正面・框内 長坂家之墓 左側面・家族

法名三名 背面・昭和二十九年十二月十八日
長坂静樹建之

八代目林家正藏彦六 岡本義 楽説院正観日義居士
明治二十八年五月十六日〜昭和五十七年一月二十
九日 八十八 豊島区 善福山盛泰寺 日蓮宗
墓番号・ネの三 五輪塔型 正面・岡本家先祖代々之
墓 花立・岡本家 香台・八代目正藏彦六
右側面・法名三名あり

(三代目圓樂↓五代目馬樂↓八代目正藏彦六)

十代目金原亭馬生 美濃部清 心光院清誉良観馬生居
士 昭和三年一月五日〜昭和五十七年九月十三日
五十五 台東区 瑠璃光山長久院 真言宗豊山派
供え餅三段型？墓碑(中尾彬デザイン)下段・無匳
背面下段・美濃部家 先祖代々 昭和五十七年九月十三
日 心光院清誉良観馬生居士 俗名 美濃部清 行年
五十四才 平成十八年十一月二十五日 浄心院良誉
芳春大姉 俗名 美濃部治子 行年 七十五才 他一名

環国寺より平成二三年十一月十六日移転改葬
(志ん朝↓四代目今松↓志ん橋↓)

四代目三遊亭圓遊 加藤勇 慈照院釈圓勇法位
明治三十五年二月十二日〜昭和五十九年一月九日
八十三 港区 離欲山正念寺 真宗大谷派
角柱平頭型 正面・加藤家之墓 右側面・慈照院釈圓
勇法位 昭和五十九年一月九日 他法名五名

春風亭梅橋 三村良廣 本成院静寂日良信士

昭和九年十月一日〜昭和五十九年一月二十五日
四十九 港区 青山霊園 宗教不問 一種(イ)二二号五
側八番 角柱香箱型 正面・九つ割り三つ引紋
三村累代之墓 左右側面・多数の法名 背面・
本成院静寂日良信士ほか 一名 大正三年十二月建之
台石・上・三村家 下・九つ割り三つ引紋 香立・三村
三村良弘(×)↓三村良廣(○)

四代目三遊亭圓馬 森田彦太郎 三遊亭圓馬広舌居士

明治三十二年一月十八日〜昭和五十九年十一月十

六日 八十六 台東区 潜龍山東淵寺 臨濟宗妙心寺

派 角柱香箱型 正面・森田家 三遊亭 先祖代々之碑

左側面・四代目三遊亭圓馬広舌居士 昭和五十九年

十一月十六日 森田彦太郎 行年八十五才

台石・円柱形

三遊亭圓之助 高橋力 正福院秀遊力忍居士

昭和四年四月二十五日〜昭和六十年四月二十六日

五十七 東村山市 小平靈園 三七区三八側十二番

宗教不問 洋型 正面・高橋家 背面・正福院秀遊力忍

居士 昭和六十年四月廿六日没 高橋力

行年 五十七才

柳家小團治 長谷川藤太郎 法名不詳

明治三十八年十一月十一日〜昭和六十一年一月

八日 八十二 墓所不明

昭和十年より落語芸術協会事務長 文才に優れ、已

年に因んだ已野歳男のペンネームで芸界雑話を永年書いて貴重な資料を残した功績は大きい

初代雷門福助 川合初太郎 法名不詳

明治三十四年十月二十日〜昭和六十一年六月十一

日 八十六 墓所不明 名古屋在住の芸人団体 「名芸

互助会」の会長 「落語会のシーラカンス」等と言

われ東京の高座にも上がった大正時代の芸風をそ

のまま残していたのが貴重でお題嚆を得意とした。

三遊亭市馬 岸正二郎 法名不詳

大正二年二月二十八日〜昭和六十二年一月二十四

日 七十五 墓所不明 昭和三十九年廃業して落語協会

事務員となった。師匠正蔵を尊敬しており、没後は

師匠と同じように遺体を群馬医大に献体している。

六代目蝶花楼馬楽 川原三郎 成道院散花日樂信士

明治四十一年一月二十一日〜昭和六十二年六月三

日 八十 新宿区 大日本獅子吼会 法華宗本門流

納骨堂 お骨・写真・位牌収納

四代目三遊亭圓左 山下守 法名不詳

昭和十七年五月十五日〜平成元年二月十三日

四十六 墓所不明

古典と古典を下敷きに、自作の落語を演じていた

三升家勝太郎 田崎操 樹教院法清日宗居士

明治三十八年十二月十五日〜平成元年十月二十五

日 八十三 府中市 本妙山大長寺 日蓮宗 角柱香箱

型 正面・先祖代々之墓 此の墓には勝太郎は入って
いない、寺の話では他に勝太郎の墓は無いとの事

五代目春風亭柳朝 大野和照 修光院爽然泰望居士

昭和四年十月二十九日〜平成三年二月七日 六十三

中野区 白鷺山福蔵院 真言宗豊山派

正面・大野家之墓 背面・昭和四十五年六月

大野新太郎 和照 花台・丸に違い鷹の羽紋

六代目柳亭燕路 黒田健之助 法名不詳

昭和九年十月二十日〜平成三年二月十日 五十八

府中市 多磨霊園 二十種 一側三三番 宗教不問

角柱平頭型 正面・黒田家之墓 花台・家紋

脇に六代目柳亭燕路の碑

八代目雷門助六 岩田喜多二 法名不詳

明治四十年四月二十二日〜平成三年十月十一日

八十四 杉並区 日本山妙法寺 法華経単立

角柱香箱型 正面・岩田家之墓

四代目春風亭柳好 小川清 明徳院柳好智風居士

大正十年 一月五日〜平成四年七月七日 七十二

横浜市旭区 永谷山長昌寺 曹洞宗 角柱平頭型

正面・小川家之墓 台石・丸に違い鷹の羽紋

側面・明徳院柳好智風居士 俗に「川崎の柳好」

七代目三升家小勝 安達勝美 三峰院瑞演勝道居士

昭和十一年十一月五日〜平成四年九月四日 五十七

港区 智剣山威徳寺(赤坂不動尊) 真言宗智山派
角柱平頭型 正面・糟谷家之墓 右側面・法名一名
左側面・七代目小勝之墓 花台・家紋 香台・粕谷

四代目柳亭痴楽 藤田重雄 龍誉笑山智樂居士

大正十年五月三十日〜平成五年十二月一日 七十三
文京区 千年山栄松院 浄土宗 角柱平頭型
正面・藤田家之墓 花台・丸に木瓜に片喰紋
左側面・龍誉笑山智樂居士 平成五年十二月一日
藤田重雄 行年七十二才 ほか法名三名

三笑亭夢三四 塩谷利次 法名不詳

昭和三十二年十一月二五日〜平成六年四月三十日
三十六 川崎市 柿生靈園 三号二側九番 宗教法人
林清寺 宗教不問 角柱香箱型 正面・塩谷家之墓
右側面・法名三名

古今亭志ん好 川島信雄 扇誉信寿居士

明治三十四年八月一日〜平成六年七月三十日

九十四 葛飾区 大光明寺単立 洋式型 正面・家紋
川島家 香台・川島

此のお寺以前は極楽寺だったが破産して引継、
大光明寺を平成十七年創立

八代目古今亭志ん馬 稲田正文 志崇院釋正觀居士

昭和十年一月十一日〜平成六年九月十日 六十
台東区 心照寺 浄土真宗本願寺派 角柱平頭型
台石・家紋 側面・志崇院釋正觀居士 平成六年九月
十日 稲田正文

三遊亭若馬 猪股基行 法名不詳

昭和十二年三月三十一日〜平成六年九月二十九日
五十七 墓所不明

一代目雷門福助 入村清人 法名不詳

昭和三十三年一月十五日〜平成六年十月十八日
三十六 墓所不明(蝶六↓)

十代目柳亭芝楽 茨木勢三 法名不詳

昭和七年五月十日生く平成七年一月十七日 六十三
墓所不明 「しばらくぐでございます。・・・別にこ無沙
汰してるわけじゃありません」師匠の開口一番が懐
かしい。西川可女蔵の名を持つ踊りの名手

二代目桂小南 谷田金次郎 桂徳院金峰楽南居士

大正九年一月二日く平成八年五月四日 七六

所沢聖地靈園ら区六側六号 宗教不問 角柱平頭型

正面・谷田家之墓 花台・家紋 墓碑・谷田家先祖代々

之諸精霊位 二代目桂小南 桂徳院金峰楽南居士

平成八年五月四日 谷田金次郎 行年 七六才

橘家三蔵 佐野行男 宝蔵院釋行道

昭和十二年十一月十一日く平成九年二月三日

六一台東区 清涼山専勝寺 真宗大谷派 納骨堂

柳家菊語楼 長村禎人 法名不詳

昭和十八年八月十日く平成十二年二月十九日

五五墓所不明 今頃あの世で黒門町の文楽師匠か
ら 「若旦那あーたこつちへ来るのは二十年早うが
すヨ」なんてお小言を頂戴しているかも
サヨナラ合掌 さん八

三代目入船亭扇蔵 広藤邦夫 謙心院芳郁道居士

昭和二七年五月一日く平成十二年五月八日

四八品川区 海照山品川寺 真言宗醍醐派

宝篋印塔 基壇・供粮塔

廣藤家墓誌 謙心院芳郁道居士 平成十二年五月八

日 俗名 邦夫 行年 四十八才

三遊亭小圓馬 森山清 慈照楽清圓居士

大正十四年九月二六日く平成十一年七月五日

七五東村山市 小平靈園十二区十六側十五番

宗教不問 正面・森山家之墓 左側面・慈照楽清圓居

士 平成十一年七月五日ほか四名 背面・昭和三十四

年九月 森山榮治建之 台石・右三つ巴紋

四代目桂三木助 小林盛夫 桂山泰盛信士

昭和三十三年三月二十九日〜平成十三年 一月三日

四五才 台東区 蓮葉山観音寺 真言宗豊山派

角柱平頭型 正面・三つ木の字紋 先祖代々之墓

台石・小林 花立・姿見楼

右側面・大正四年十二月廿一日建之

古今亭右朝 田島道寛 斯道院右朝日孝信士

昭和二十三年十一月二日〜平成十三年四月二十九

日 五十四 奥多摩霊園六区八〇七番 宗教不問

角柱平頭型 本門八品上行

正面・南無妙法蓮華經 江草 累代 霊所伝本因下種

左側面・斯道院右朝日孝信士 俗名古今亭右朝

平成十三年四月二十九日歿 行年 五十二才

背面・昭和三十四年十二月 □□江草□□建之

江戸川区 妙泉寺より平成二二年四月改葬

墓所の使用者は江口きみ江

二代目橘家文蔵 井白清 一橘光院樂徳聖道居士

昭和十四年八月二十五日〜平成十三年九月十日

六十三 中野区 七星山光徳院 真言宗豊山派

角柱香箱型 正面・井白家之墓 花台・丸に違い鷹の

羽紋 右側面・橘光院樂徳聖道居士 平成十三年九月

十日 俗名 井白清 一行年六十三才 ほか法名二名

三代目古今亭志ん朝 美濃部強次

光風院樂譽観月志ん朝居士

昭和十三年三月十日〜平成十三年十月一日 六十四

文京区 安養山環国寺 浄土宗

角柱平頭型 正面・美濃部家之墓 花台・丸に裏梅

香台・美濃部 墓誌・美濃部家先祖代々之霊位

松風院樂譽彩雲志ん生居士 昭和四十八年九月二

十一日 光風院樂譽観月志ん朝居士 平成十三年十

月一日 他一名 十代目馬生は台東区長久院に改葬

桂南治 武田実 法名不詳

昭和二十二年四月十八日〜平成十三年十一月二十

六日 五十四 墓所不明

二つ目昇進以降、地元山形での落語会を数多く開き落語の普及に勤めた。

八代目春風亭小柳枝 西川長 春風院伝笑長道信士

昭和二年二月二十七日〜平成十四年三月五日

七十六 村山市 小平靈園十三区八側三二番

宗教不問 角柱平頭型 正面・西川家之墓 花台・家紋

右側面・春風院伝笑長道信士 平成十四年三月五日

俗名 西川長 行年七十五才 ほか法名四名

五代目柳家小さん 小林盛夫

本行院殿法勲語咄日盛居士

大正四年一月二日〜平成十四年五月十六日

八十八 世田谷区 乗泉寺世田谷別院 本文仏立宗

角柱なで型 正面・南無妙法蓮華經 右側面・本行院

殿法勲語咄日盛居士 俗名小林盛夫 行年八十八才

ほか法名五名 台石・小林 花台・丸に剣片喰紋

重要無形文化財保持者(人間国宝)

春風亭扇枝 本多五夫 扇誉五峰居士

六十八 群馬県中之条町五反田 角柱平頭型

正面・本多家之墓 墓誌・扇枝の記載なし

中之条駅からタクシーで二十分ぐらい走って橋の

所で降り、細い泥道を五十メートルい山の中へ入る深

林の中に扇枝の墓があった。タクシー会社 「浅白

観光自動車」の方に案内を頼むのが賢明

自ら会を開いたり銀座で「塩原寄席」を主催し圓

朝系のネタ(主に「塩原多助一代記」などの長編

物を好んで演じた、そのために自ら望んで持ち時間

の少ない定席には出演しなかった。

五代目春風亭柳昇 秋元安雄 春風院楽安柳昇居士

大正九年十月十八日〜平成十五年六月二六日

八十三 武蔵野市 八幡山延命寺 真言宗智山派

角柱香箱型 正面・先祖代々之墓 台石・框内 秋元

墓誌・五代春風院楽安柳昇居士 孝子夫 安雄 平成

十五年六月十六日 八十二才 墓誌右側に円形句碑

「遊んでいるよな 小鳥でさえも 生きるためには

苦勞する 小鳥二羽刻絵 春風亭柳昇（林鳴平）

桂枝助 小林光久 法名不詳

昭和十八年三月二二日〜平成十六年 一月二日

六十二松戸 八柱霊園十七区(c) 二三側二一番

宗教不問 角柱平頭型 正面・小林家之墓

十代目桂文治 関口達雄 文翁院話玄達道居士

大正十三年 一月十四日〜平成十六年 一月三一日

八十一港区 崑崗山玉窓寺 曹洞宗 角柱櫛型

正面・法名四列 台石・関口

（初代柳家蝠丸は実父）

三代目三遊亭歌奴 平田昭宏 法名不詳

昭和十六年七月十八日〜平成十六年四月六日

六十三 小歌師の話では墓は作っていない

丸に片喰紋 古典落語、時々のおわさ話を楽しく

明るく愉快にやりたいと思つてます ヨイシヨも

心をこめて歌奴

六代目柳家つば女 渡辺虎彦

昭和十三年八月二十六日〜平成十六年六月十二日

六十七 ひたち平和記念墓地公園D区五番二六列

三九号 宗教不問 洋式墓碑 正面・妙法 渡邊家

右側面・平成十八年五月三日 渡邊和子 建之

背面・渡邊虎彦 柳家つば女 平成十六年六月十二

日 六十五才 香台・武田菱紋

七代目春風亭柳橋 駒木根正男

昭和十年八月十二日〜平成十六年十月三十一日

七十さいたま市 青葉園墓地十一―B―四八

宗教不問 洋風墓碑・正面駒木根家 右側面・平成十

七年三月 建之 駒木根初音 花台・丸に三階菱紋

香台・駒木根家

桂文朝 田上孝明 法名不詳

昭和十七年三月三十一日〜平成十七年四月十八日

六十四 丸に橘紋 墓所不明 葛飾区源寿院で葬儀が

行われたが墓はない。芸術協会より落語協会に移籍

三笑亭夢樂 渋谷混 笑林院夢樂日悠信士

大正十四年 一月五日〜平成十七年十月二十八日

八十一 横浜市西区 平沼山久成寺 藤棚墓地

日蓮宗 角柱香箱型 正面 丸に笹竜胆紋 渋谷家之

墓 側面・笑林院夢樂日悠信士 平成十七年十月二十

八日 三笑亭夢樂 八十才

三代目三遊亭圓右 粕谷泰三 浄光院法徳日儀信士

大正十二年十二月八日〜平成十八年三月二十二日

八十四 杉並区 日圓山妙法寺 日蓮宗

角柱平頭型 正面・粕谷 柴田 家之墓

花台・丸に五三の桐紋と丸に違い鷹の羽紋

三遊亭圓彌 林光男 玄妙院円彌日光信士

昭和十一年七月二十日〜平成十八年四月二十九日

七十 台東区 日照山長明寺 日蓮宗 角柱香箱型

正面・林家之墓 右側面・高座名 三遊亭圓彌

玄妙院円彌日光信士 平成十八年四月二十九日

俗名 林光男 行年 六十九才

慶長十四年間に起立、大正年間に谷中正運寺を合寺

四代目柳家小せん 飯泉真寿男 修芸真道居士

大正十二年七月二十四日〜平成十八年十月十日

八十四 葛飾区 明王山宝性寺 真言宗智山派

角柱平頭型 正面・飯泉家之墓 丸に花菱紋

(実父は落語家で百面相の二代目柳家小満ん)

三代目三遊亭右女助 田中信雄 梅譽慈笑信士

大正十四年九月十九日〜平成十九年五月二十日

八十三 鎌倉市 内背山九品寺 浄土宗 墓番号八二

角柱香箱型 二基 正面・法名二名 台石・田中

墓誌・梅譽慈笑信士 平成十九年五月二十日

三代三遊亭右女助 俗名 信雄 行年 八十二才

七代目三遊亭圓好 甘粕隆義 法名不詳

昭和二十三年十月二十五日〜平成十九年十月十一

日 五十九 墓所不明 (甘楽↓生坊↓梅生↓)

桂南八 榆井勇 法名不詳

昭和二十一年十一月十四日〜平成十九年十一月十五日 六十二墓所不明

三遊亭歌雀 三浦孝

昭和三十八年九月四日〜平成二十年二月六日

四十六 横浜市西区 久保山墓地西四区 宗教不問

合同納骨堂で墓石はなし

糖尿病のため両足を切断しながらも、義足で高座に上がり続けた。

四代目喜久亭寿楽 大杉正伸 慈眼院正岳孝道居士

昭和三十七年三月十九日〜平成二十年八月十七日

五十七 甲府市 富田山壽徳院 曹洞宗 角柱平頭型

正面・大杉家の墓 花台・丸に花菱紋 墓碑・慈眼院正

岳孝道居士 平成二十年八月十七日歿 大杉正伸

五十五才 四代目喜久亭寿楽 高座姿

1952.3.19-2008.8.17 ヲノヅカ 第十九代会長

十代目翁家さん馬 高安清 嘶翁清道居士

昭和十六年四月二十七日〜平成二十年十二月十九

日 六十八 台東区 望湖山玉林寺 曹洞宗 角柱平頭

型 正面・有喜院仙巖貞壽大姉 右側面・昭和三十年

十月八日建之 九代目翁家さん馬 台石・高安

花台・丸に左三つ巴紋 九代目桂文治に養子入り

三遊亭生之助 布施吉英 吉祥院善行日生信士

昭和十年八月二十二日〜平成二十一年五月二十二

日 七十五 世田谷区 春陽山永隆寺 法華宗本門流

角柱平頭型 正面・布施家の墓 正面の下・墓誌・

吉祥院善行日生信士 平成二年五月二十(マ)日

布施吉英 七十五才 右側面・平成二十二年 一月吉日

布施吉英・幸子建之 台石・家紋

五代目柳亭痴楽 沢辺幸三 成幸院妙楽慈居士

昭和二十六年十一月三十日〜平成二十二年九月七

日 五十九 新宿区 桃嶽山龍門寺 曹洞宗 角柱平頭

型 正面・澤邊家の墓 台石・丸に四方木瓜紋

五代目三遊亭圓樂 吉河寛海 光岳院情誉円楽寛海居士

昭和八年 一月三日〜平成二十二年十月二十九日

七十七 足立区 日照山易行院 浄土宗 角柱香箱型

正面・円楽之墓 背面・昭和六十三年十一月吉日

吉河寛海建之 花台・丸に丸に桔梗紋 墓碑・五代目

三遊亭円楽光岳院情誉円楽寛海居士 平成二十一年

年十月二十九日 享年七十六才

圓生の落語三遊協会に惣領弟子として参加、圓生

他界後は「大日本すみれ党」寄席「若竹」建設

立川文都 国府秀剛 法名不詳

昭和三十五年 一月三十一日〜平成二十一年十月

二十九日 五十 墓所不明

春風亭栄橋 山田昌男 春荣法楽日昌居士

昭和十四年三月五日〜平成二十二年 一月十二日

七十二 北足立郡やすらぎ浄苑 宗教不問 洋型墓碑

正面・山田家 香炉・山田 墓碑・春荣法楽日昌居士

俗名 山田昌男 平成二十二年 一月十二日

行年七十二才 法名ほか一名

はやし家林蔵 井上利洋 献信院日利信士

昭和十七年七月七日〜平成二十二年三月三日

六十九 千葉県富里市 七栄霊園 宗教不問

角柱平頭型 正面・井上家之墓 左側面・平成二十二

年三月三日 俗名井上利洋 行年七十才 台石・家紋

古今亭志ん五 篠崎進 古今亭志ん五

昭和二十四年五月三十日〜平成二十二年九月二十

八日 六十二 台東区 東叡山浄名院 天台宗

洋式墓碑 正面・篠崎家 花立・丸に裏梅紋

墓誌・古今亭志ん五 平成二十二年九月二十八日歿

俗名 篠崎進 行年六十二才

桂圓枝 香川伸雄 嘶春舞棋居士

昭和六年十二月二十一日〜平成二十三年二月十六

日 八十 荒川区 光明寺東京御廟 納骨堂 宗教不問

※管理者の氏名と住所か電話番号が登録と合致す

れば五百円支払ってお参りできる

二代目柳家さん助 松本光春 嘶春舞棋居士

大正十五年八月六日〜平成二十三年九月九日

八十六 八王子靈園 西園三区六側十八番 宗教不問
洋風型 正面・松本家 右側面・平成二十五年七月吉

日 松本アケミ建之 背面 嘶春舞棋居士

花台・丸に右三階松

立川談大 桜井達男

昭和四十九年七月六日〜平成二十二年十一月四日

三十七 東茨城市大洗町斎場 宗教不問 木製角柱平

頭型 正面・故桜井達男之墓 右側面・平成二十二年

十一月四日歿 左側面・行年三十七歳

七代目立川談志 松岡克由 立川雲黒斎家元勝手居士

昭和十一年一月二日〜平成二十三年十一月二十一日

日 七十六 文京区浄心寺本郷さくら靈園 浄土宗

角柱平頭型 正面・立川談志 花台・丸に左三階松紋

右側面・二〇一二年二月二日 松岡則子 建之

左側面・立川雲黒斎家元勝手居士 二〇一二年一月二一日 俗名松岡克由 享年七五才 台石・さアて

人生ねえ…… 自筆自画像 立川談志 ㊦

談志師本人は五代目立川談志を名乗っていた。

雷門小福 中島捨男 法名不詳

昭和九年四月二十一日〜平成二十四年四月七日

七十八 墓所不明

二代目古今亭圓菊 藤原淑 淑徳院圓菊日輪居士

昭和三年四月二十九日〜平成二十四年十月十三日

八十五 江東区江東メモリアム 宗教不問

角柱香箱型 正面・藤原家 左側・古今亭圓菊 花台・

裏梅紋 墓碑・淑徳院圓菊日輪居士平成二十四年十

月十三日寂 俗名 藤原淑 享年八十五才

九代目古今亭志ん馬 吉野恵 一釈恵明信士

昭和三十三年三月三日〜平成二十五年十月七日

五十六 世田谷区 妙善寺 浄土真宗本願寺派
角柱平頭型 正面・吉野家之墓 裏梅紋 左側面・
釈恵明信士 平成二十五年十月七日 吉野恵一
五十五才

三遊亭右紋 中沢輝夫 法名不詳

昭和二十三年十月二日〜平成二十六年 一月二十三
日 六十六 墓所不明

春風亭柳桜 吉澤正雄 釋柳櫻

昭和二十七年十月二十二日〜平成二十六年五月
十九日 六十一 世田谷区 天護山妙祐寺 浄土真宗
本願寺派 角柱平型 正面 吉沢家之墓 右側面・
釋柳櫻 平成二十六年五月十九日 俗名正雄
六十一才 台石花立白・家紋

三代目橘ノ圓 布施重雄 天真院和樂圓證信士

昭和十年八月二十六日〜平成二十六年五月二十九
日 八十 葛飾区 業平山南藏寺(しばらく地蔵)

天台宗 角柱平頭型 正面・布施家 台石・家紋 墓誌・
天真院和樂圓證信士 平成二十六年五月二十九日
俗名 重雄 行年七十八才

桂小金治 田邊幹男 慈笑院幹譽演道居士

昭和元年十月六日〜平成二十六年十一月三日
八十九 狛江市 榮氷山慶岸寺 浄土宗洋式墓碑
田邊家之墓 背側・慈笑院幹譽演道居士 平成二六年
十一月三日 俗名 田邊幹男 行年八十八才

初代三笑亭夢丸 坂田宏 興笑院夢褥宏舌居士

昭和二十年十月四日〜平成二十七年三月七日
七十 台東区 妙泉寺メモリアルガーデン上野
法華宗本門流 洋式櫛型 正面・坂田 初代三笑亭夢
丸 ここに眠る 花立両側・丸に三つ葵紋 高炉横・
坂田 下段・墓碑 興笑院夢褥宏舌居士

平成二十七年三月七日没 俗名 坂田宏 行年七十才
守髓院皓月妙重大姉 俗名 坂田八重子 左側面・
平成十五年八月吉日建立 施主 坂田宏 八重子

九代目入船亭扇橋 橋本光永 徳圓光澤信士

昭和六年五月二十九日〜平成二十七年七月十日

八十五 青梅市 成木山安樂寺 真言宗系単立

角柱平頭型 正面・橋本家之墓 花台・丸に蔦紋

墓誌・徳圓光澤信士 平成二十七年七月十日歿

橋本光永 行年八十四才

八代目橘家圓藏 大山武雄 鏡光院武儔圓藏居士

昭和九年四月三日〜平成二十七年十月七日 八十二

江東区 瑞龜山長壽寺 臨濟宗永源寺派 角柱香箱型

正面・八代目橘家圓藏 右側面・鏡光院武儔圓相藏居

士 平成二十七年十月七日 俗名大山武雄 八十二才

丸に三つ組橘紋

柳家喜多八 林寛史 喜多院八葉称寛居士

昭和二十四年十月十四日〜平成二十八年五月十七

日 六十八 港区 南命山善光寺 浄土宗 洋式櫛型

正面・清く気だるく美しく 柳家喜多八 花台・丸に

三つ柏紋 墓碑・喜多院八葉称寛居士 平成二十八年

五月十七日 俗名 林 寛史 行年六十六才

三代目三遊亭圓歌 中沢円法 本遊院円法日信

昭和四年 一月十日〜平成二十九年四月二十三日

八十八 墨田区 妙栄山本法寺 日蓮宗 角柱平頭型

正面・南無妙法蓮華經 右側面・昭和六十三年八月

吉日 中沢円法建之 台石・中澤家 片喰紋

柳家小蝠 新井淳 一盛牡蝠應居士

昭和五十年十一月十六日生〜平成三十年 一月十二

日 四十四 高崎市柴崎町 一五〇九(ヤスラギハウス

隣 洋式墓碑 正面・新井家 右側・平成三十年孟蘭

盆会 新井重雄 建之 過去碑・盛牡蝠應居士

平成三十年 一月十二日 新井淳 一四十三才

花台・隅切り鉄砲角に三つ引き紋

古今亭志ん駒 徳永一夫 明鏡院釋浄駒

昭和十二年 一月二日〜平成三十年 一月十八日

八十二 練馬区 宝華山敬覺寺 浄土真宗本願寺派

角柱平頭型 正面・南無阿彌陀佛 側面・明鏡院釋淨
駒 平成三十年 一月十八日 俗名 二夫 八十二才

台石・徳永 花台・井桁紋

「ヨイシヨはされる身になって丁寧に」志ん駒
時代劇『大江戸捜査網』の「早耳金太」

役を長く務めるなど役者としても活躍していた。

立川左談次 山岡通之 立川左談次

昭和二十五年十二月二日〜平成三十年三月十九日

六十七 台東区 東叡山浄名院 天台宗 洋式墓碑

正面・菅野家 花立・丸に裏梅紋

墓誌・平成二十三年十一月吉日 菅野喜夫・いね

建之 立川左談次 平成三十年三月十九日寂

俗名 山岡通之 行年 六十七才

八代目都家歌六 真野良夫 法名不詳

昭和五年七月二五日〜平成三十年三月三一日

八十八才 墓所不明

のこぎり漫談を寄席の芸として確立、余興から本業

となる。SP レコードを中心とする落語・演芸関係
の古いレコード収集家。

著書に『落語レコード八十年史』がある

桂歌丸 椎名巖 眞藝院釋歌丸

昭和十一年八月十四日〜平成三十年七月二日

八十二葬儀 横浜市 長光山妙蓮寺 日蓮宗

横浜市西区 久保山墓地 宗教不問

附録

初代豊嶋寿鶴斎 尾本仙之助 松月寿鶴居士

生年不詳ゝ天保・弘化頃？ 享年不詳

新宿区 護本山天龍寺 曹洞宗 墓碑・過去帳なし
ヲルコル独楽 八人芸

宇治茶楽（三遊亭茶楽）通称・直次郎 茶楽日曄信士

寛政三年（逆）ゝ嘉永四年九月二十日 五十九

台東区 深栄山長昌寺 日蓮宗 角柱香箱型

墓碑・過去帳なし 震災で過去帳を消失し戦災で

墓石を破壊され昭和二十二年整理した。

「夢跡集」に正面・星梅鉢紋 茶楽日曄信士 右側面

嘉永四年龍集庚亥秋九月廿日 通称直次郎 歳五十九

左側面・長汐力次郎 建之

初代都々一坊扇歌 枡屋福次郎 都々一坊賢叟清居士

文化元年（逆）ゝ嘉永五年十月二十九日 四十九

茨城県石岡市浄瑠璃山国分寺 真言宗智山派

角柱香箱型 墓碑左・都々一坊賢叟清居士 右法名一
名 台石・酒井氏 風化著しい

石岡市府中に昭和八年 「扇歌堂」が建立された

港区 龍臥山宝生院 角柱香箱型スリン台

正面・丸に祇園守紋 右・釋尼妙幸 左・都々一坊見
傳居士 右側面・嘉永六丑年十月廿六日

左側面・弘化二歳次乙巳天十月二十六日歿

墳墓在攝津大坂也今茲當三周之忌當院建碑石以修

追福会 都々一坊扇歌建 琴女墓 台石・四止氏

「夢跡集」に三田寺町宝生院にある墓 八門人達の
建る所の記念墓なりとある。

常陸太田市磯部町に扇歌顕彰像と歌碑あり 「磯部

田圃のばらばら松は風も吹かずに気がもめる」

辞世都々逸 「都々逸もうたいつくして三味線枕

楽にわたしはねるわいな」

都屋都楽 高松熊吉 常香院釈楽邦居士

安永八年（逆）ゝ嘉永五年十二月二十七日 七十三

台東区 光照寺 真宗大谷派 角柱香箱型

正面・花頭框内 丸に右重ね違い鷹の羽紋 先祖代々
台石・元祖都楽 写絵(うつしゑ)師

二代目都々二坊扇歌(女) 本名不詳 善悦信士

生年不詳(慶応三年六月(日不詳) 享年不詳
江東区 法苑山淨心寺 日蓮宗 墓碑・過去帳なし

二代目豊嶋寿鶴斎 芋や弁次郎 松月院寿鶴居士

生年不詳(明治二年九月二日 享年不詳(八人芸
新宿区 護本山天龍寺 曹洞宗 墓碑・過去帳なし
「夢跡集」に角柱櫛形 框内正面に豊嶋壽鸞齋墓
右側に松月院壽鸞居士 明治二乙己九月二日

初代養老滝五郎 本名不詳 法名不詳

嘉永元年(逆)明治十三年二月二十六日 六十九
墓所不明 調査中

辞世 「水は水 火は火に帰る事ならば 我も冥途へ
ハイ逆もどり」 つるぎの刃渡 手品師

三代目都々二坊扇歌 斎藤豊吉 善悦信士・釈善暁信士

天保元年(逆)明治十三年四月五日 五十一
杉並区 応供山等正寺 浄土真宗本願寺派
角柱花頭型 斎藤家累代之墓

脇の石塔に、三代目都々一ツ坊扇歌墓とあり

四代目都々二坊扇歌 志沢たけ

扇歌院名譽都々一大姉

安政三年九月(明治三十年九月二十六日
四十二 台東区 谷中靈園 墓碑・過去帳なし

二代目養老滝五郎 西井庄吉 莊順信士

天保十(逆)年(明治三十七年九月十四日 六十四
横浜市 観行山慈雲寺 日蓮宗 調査中 手品頭取

初代立花家歌橘 加藤よね 賢譽妙惠信女

明治十四年二月(明治三十九年九月十六日 二十六
港区 松本山光善寺 「墓誌」 台東区 五台山源空寺
初代柳條の娘 柳橘は実子 墓所は浅草・源空寺、

元麻布・光善寺の二説あるも墓碑確認できず

二代目富士松ぎん蝶 高山久次郎 清誉慈雲信士

元治元年十二月〜明治四十一年九月七日 四十五

江東区 道本山靈巖寺 浄土宗

(三代目左楽実弟)

三代目柳川一蝶斎 青木治三郎 秀通院教外圓通居士

弘化四年十一月〜明治四二年二月十七日 六十三

台東区 祝融山瑞松院 臨済宗妙心寺派

自然石 正面・三代目柳川一蝶斎之墓 背面・四十二

年二月十七日永眠 本名青木治三郎 行年六十三歳

青木文之助 高橋幸太郎 兄弟 日本手妻 浮かれ蝶

(蝶之助↓蝶柳斎↓)

松旭斎天 一服部松旭(竹野八之助) 奇術師

嘉永六年〜明治四五年六月十四日 六十

江東区 道本山靈巖寺 浄土宗 洋風墓石 正面・服

部家先祖代々 台石・框内 松旭斎天一福井市藤島

神社の一ノ鳥居脇に、天一の奉納した大燈籠が一对

あり。明治四拾貳年八月吉祥建之 台石・松旭斎天一

松旭斎天 一生誕之碑

二〇一二年五月二七日に日本奇術協会により福井市大名町交差点付近に没後百年記念の石碑を建立

五代目都々逸坊扇歌(初代柳家つばめ) 岡谷喜代松

岡谷院柳誉喜燕居士 安政五年三月十四日〜明治四

五年六月二十九日 五十六 大阪市 四天王寺

和宗総本山 辞世 「東の間に土となりけり春の雪」

初代春本助次郎 春本助次郎 釈超賢信士

安政二年(逆)〜大正二年五月 一日 五十九

台東区 長久山永称寺 浄土真宗本願寺派

過去帳あり・墓碑なし

初代柳家紫朝 尾山龜次郎 温情院紫朝日祐信士

明治六年九月九日〜大正七年五月十二日 四十六

台東区 大法山 一乗寺 日蓮宗 角柱香箱型スリン台

正面・柳家紫朝墓 花台・松葉菱に花菱紋 香台・尾山
左側面・温情院紫朝日祐信士 大正七年五月十二日
没 四十六才 右側面・大正七年六月建之 尾山たつ
新内語り 「秋の夜に紫朝を聞けばしみじみとよ
その恋にも泣かれぬるかな」勇

二代目松柳亭鶴枝 高橋喜太郎 真敬院法喜信士

文久三年五月十三日〜大正十二年四月一日 六十一
葛飾区 正覺山妙源寺 日蓮宗 角柱平頭型スリン台
猫足 正面・先祖累代之墓 左側面・大正十二年五月
高橋徳太郎建造 台石・高橋 五三の桐紋（生人形）

帰天齋小正一（三遊亭正右） 平山平吉 秋風道英信士

明治九年三月〜大正十二年九月五日 四十八
江東区 福聚山善應寺普門院 真言宗智山派
角柱平頭型 風化で読めない 家紋 台石・平山
大震災で歿（三遊亭正右↓） 手品師

三代目養老瀧五郎 笠井松五郎 常楽院養老寿松居士

生年不詳〜大正十三年四月二十六日 行年不詳
港区 十劫山天機院成覚寺 浄土宗
過去帳・墓碑なし 手品師

現在養老派↓北見マキ・北見翼（養老瀧之丞）

豊年齋梅坊主 松本梅吉 法名不詳

嘉永七年 一月一日〜昭和二年二月十三日 七十四
台東区 大乘山長運寺 日蓮宗 角柱香箱型 正面・
家紋 先祖代々之墓 かつばれ（住吉踊り）

一柳齋柳一（お伽丸柳・春風一柳） 渡辺国太郎

妙風院殊藝日柳信士

慶応二年二月十七日〜昭和四年二月七日 六十四

台東区 円住山妙円寺 日蓮宗 角柱平頭型 正面・

奉納永代経料壺百萬円 平成二十一年十二月十五日

渡辺家先祖代々之霊位 施主 渡辺時賢

南妙法蓮華經 台石・渡邊 香台・丸に三つ葵紋

左側面・法名三名の内二行目・妙風院殊藝日柳信士

昭和四年二月七日 一柳斎柳 一墓碑左に石塔あり

正面 「一柳斎柳 一事お伽丸柳 二」 左側面・故渡

邊國太郎 お伽丸柳 一昭和四年二月七日歿 行年

六十四才 講釈師・伊東凌潮の実子 曲芸・記憶術

お伽丸柳 一之碑

台東区 長瀧山本法寺 日蓮宗 昭和九年の春建之

自然石 正面・お伽丸柳 一之碑 左側に小さい文字

で関東大震災の時として…「秋あつし 呑まんとす
れば 毒の水」という句が記されています。

背面・發起人・

巖谷小波・石川木舟・服部感夫・花柳徳輔・高峰築風・

高畠華宵・久保田金倦・栗島すみ子・

野村元基 野村無名庵）・久留島武彦・安倍季雄・

天野雅彦・笹野豊美・以上十三名

初代江戸家猫八 岡田信吉 行妙院浄信日詠居士

明治元年四月三日〜昭和七年四月六日 六十五

豊島区雑司ヶ谷墓地 一西六一三角柱香箱型

正面・初代江戸家猫八之墓 左側面・法名四名・

台石框内・巴紋 動物ものまね

二代目春本助次郎 石井喜蔵 法名不詳

大正二年五月一日〜昭和十七年三月六日 四十八

台東区 長久山永称寺 浄土真宗本願寺派

洋風櫛型 正面・框内 石井家之墓

初代助次郎の養子、妻は本牧亭の席亭の石井英子

（春本小助↓）

松旭斎天勝 金沢カツ 清操院釋妙勝大姉 奇術師

明治十九年五月二十一日〜昭和十九年十一月十一

日 五十九 大田区 慈眼山無量院萬福寺 曹洞宗

自然石 初代天勝を残す會 左側・施主三橋淺次郎建

之奥に再婚した金沢 一郎との墓碑 自然石蓮華台

正面・右側 □□□□ 金澤 一郎先生

金剛院鷲嶺 一道居士 昭和□□年□□月□□日

靈 清操院釋妙勝大姉 昭和十九年十一月十一日

松旭斎 天勝 分骨

興行の支配人三橋淺次郎の墓も並んでる

自然石 正面右側・故三橋淺次郎翁 昭和□十二年
□□月□□日 天隨院光照淺道居士 天信院玉昭妙
光大姉

吉慶堂李彩 李德福 釈願東信士 奇術師

明治十二年十一月十六日〜昭和二十年三月十日
七十七 台東区 正行寺 真宗大谷派 調査中

関東大震災のころ多くの自警団が組織され 朝鮮人
・中国人が殺傷された。初代李彩自身は友人の芸人
と街を練り出し、処刑されそうになっている朝鮮人
・中国人を見つけると弟子だと言い、自警団の前で
手品を披露し自警団を驚かせ、朝鮮人・中国人を
助けたという美談が残っている。
東京大空襲に遭い、亡くなった。

三代目松柳亭鶴枝 尾藤三五郎 鶴蒼浄念信士

明治三十年(逆)〜昭和二十二年三月六日 五十一
新宿区 五却山法蔵寺 浄土宗 尾藤家之墓 花台・丸
に違い鷹の羽紋 右側面・鶴蒼浄念信士昭和二十一

年三月六日 俗名三五郎 五十一才 浄願徳往信女
鶴枝妻女 小林とく 昭和三年五月十一日 四十七才
合葬 百面相(歌手尾藤イサオの実父)

西川たつ 岸沢式多津 西川たつ 真芸院釈尼妙恵

明治三十八年十二月二十五日〜昭和三十四年六月
一日 六十五 世田谷区 白龍山正蓮寺

浄土真宗本願寺派 角柱香箱型 正面・先祖代々之墓
浮世節(橘之助の流れ)

三遊亭圓福 矢島光造 三学遊光居士

明治二十二年(逆)〜昭和三十六年十二月一日
七十三 大宮市 大成山普門院 角柱平頭型

正面・家紋 二名 法名

立花家歌子 岸上きみ 法名不詳

明治三十年九月二十一日〜昭和三十九年五月三日
六十八 廣栄山 一乗寺 日蓮宗 調査中
明治四十三年ごろから立花家歌子の名で三遊派に

加わった、娘音曲手踊りとして、柳派の岸沢式多津
(西川たつ)とならび称されて人気を二分する

寄席音曲師

初代林家正楽 一柳金次郎 慈耀院正楽日金居士

明治十九年十一月十八日〜昭和四十一年四月十五日
日七十 足立区 大光山善立寺 日蓮宗 洋式墓碑
左側面・一柳家 正面・背面? 紙切り

初代柳家三亀松 伊藤亀太郎 無量院殿釈松声大居士

明治三十四年九月一日〜昭和四十三年 一月二十日
六十七 中野区 新居山高徳寺 角柱香箱型 正面・
伊藤家之墓 墓誌・自然石 柳家三亀松此処に眠る
無量院殿釈松声大居士 俗名 伊藤亀太郎

昭和四十三年 一月二十日 三味線漫談

伊藤一葉 伊藤家晴 奇才院釋 一葉居士

昭和九年六月十九日〜昭和五十四年九月三十日
四十六 越谷市 越谷中央霊園 第四区六側二十一番

宗教不問 角柱香箱型 正面・伊藤家之墓
花台・下がり藤紋 奇術師

初代引田天功 引田功 天融院功雲道顯居士

昭和九年七月三日〜昭和五十四年十二月三十一日
四十六 横浜市 慈雲山大林寺 曹洞宗 角柱平頭型
正面・引田家之墓 花立・丸に三つ柏 左側面・昭和
五十五年十二月建之 施主 引田保次
左隣に小林家之墓碑もある

墓誌・天融院功雲道顯居士 昭和五十四年十二月

三十一日 功 四十五才ほか法名三名

当墓地は引田家代々の墓地なれど引田天功死後
小林家へ嫁ぎおる次女冴子が父親を看護せりその
折父保次より永代この墓地を守ってくれとの遺言
により関係者と協議の末小林家と共葬し守るもの
也 引福院貞心浄節大姉 平成九年九月十一日 行年
六十五才

引田天功之碑

自然石 正面 神技心魂を燃やして衆と遊ぶ 鬼才そ

の旅の短きを哀しむ 森繁久彌 落款

背面・顕彰碑建立御賛同者御芳名 日本奇術協会・伴

淳三郎・松旭斎天洋・はかま満緒・朝風まり(二代目

天功)ほか全四十九名 昭和五十五年十二月七日

略歴案内板(天功写真付)

天功 本名 引田功 父 保次 母 カネの長男として

横浜に誕生 日本大学工学部卒業 在学中 松旭斎天

洋門下となる 昭和三十二年魔術師天功として華々

しくデビュー 三十五年引田天功として独立以来二

十二年魔術と共に歩む 三十六年天皇陛下還暦祝い

ショウ 「平和の鳩」を始めとして四十三年 四十六

年と三回天皇陛下の御前でマジックショウ 天功マ

ジックリサイタル 三回 天功大魔術脱出シリーズ

三回 四十四年 天功催眠術を発表 四十五年 日本

万国博覧会電力館にて六ヶ月間出演 その他 天功

独自 数々の大魔術を編だし世界の天功と賞賛され

五十四年十二月三十一日 鬼才天を駆け白鳩天に舞

い静かに大魔術の幕は降りた 天功の思い出を残さ

んと天覧ショーの模様を描き此碑となす。

背面・昭和六十年十二月吉日

引田保次 二代目引田天功 建之

松旭斎天洋 山田松太郎 法名不詳

明治二十一年九月二十一日〜昭和五十五年九月三

十日 九十三 豊島区 徳栄山本妙寺 法華宗陣門流

角柱平頭型 山田家之墓 奇術師

橘つや 橘つや 橘如実成信女

明治三十一年十月〜昭和五十七年七月十七日

八十五 台東区本覺山自性院 新義真言宗

角柱香箱型 正面・梵字(ア 大日如来) 橘家之墓

側面・音浄萬覺居士 昭和三十三年三月十九日

相如実成信女 三列目・清壽院芹経温潤大姉

昭和五十七年七月十七日 柳家さん次の妻

下座さん 勲六等瑞宝章(昭和四十七年)

アダチ龍光 中川一 龍光 二道信士

明治二十九年七月二十日〜昭和五十七年十月十三

日八十七 台東区 泰平山萬隆寺 曹洞宗

角柱平頭型 正面・中川家之墓 右側面・法名六名

台石・家紋 奇術師

都家かつ江 利根谷タキ 芸照院真微妙薰大姉

明治四十四年三月十五日〜昭和五十八年九月二十

九日 七十五 文京区 大智山海蔵寺 曹洞宗

角柱香箱型 正面・家紋 利根谷家之墓 花立の横に

石塔に都家かつ江 香台・家紋

都家かつ江之碑 (海蔵寺境内)

角柱平頭型 正面・都家かつ江之碑 左下・橘右近□

右側面 「君が弾く三味線の音に唄ごえに人は笑

って また人は泣く」 森繁久弥

左側面 「秋草の中にまじりて一輪の 野菊ぞ床し

その君に似て」 福丸(かつ江の夫) 下・かつ江略歴

左隣に燈籠あり、上野鈴本の玄関にあったもので、

寄席の改築に際し、寄贈されて、かつ江宅にあった

ものをここに移した。

七代目都々逸坊扇歌 天野春吉 法音院扇歌日春居士

明治二十三年三月二十八日〜昭和六十年六月七日

八十六 荒川区 関妙山善性寺 角柱平頭型スリ

ン台 正面・天野家之墓 墓碑 「三味線や琴の音じめ

じや白状は出来ぬ そこに胡弓があるだろう」

七代目都々一坊扇歌 明治二十三年三月二十八日

東京都港区宮下町二十九番出生 昭和二十七年石岡

市に於て 扇歌襲名 (三代目富士松ぎん蝶↓)

芸歴碑・七歳の時失明し小石川東盲大学音楽部卒

業 長唄 三味線 琴 胡弓 太鼓 端唄 新内いづれ

も名取りになり三味線を背中や頭上で弾いたりバ

チで胡弓の音を出す曲弾きをした ほかに即興

都々いつを得意とした 生涯芸道に励み舞台は華

やかであった 都々いつ 歌声三味線音いろ 舞台

姿が目に浮かぶ 揮毫 天野美智子(ぎん蝶↓)

宮尾たか志 宮尾正 法名不詳

昭和二年九月七日〜昭和六十年九月二十八日生

五十九 葛飾区 弘誓山大秀寺 浄土宗 角柱香箱型

正面・宮尾家之墓 背面・宮尾正造建之

昭和十五年三月（三代目柳家つばめは実父）

二代目江戸家猫八（木下華声） 長谷川栄太郎

明治四十五年七月六日〜昭和六十一年五月二十五

日 七十五 墓所不明（猫八↓華声） 法名不詳

墓所不明

戦後は古川ロッパの劇団で本名の「岡田六郎」名

で役者をやっていた、初代猫八の実子（三代目猫八）を弟子にして芸を伝え、昭和二十五年三代目を譲る。

以後は「木下華声」で漫談、声帯模写に活躍した。

東八郎（トシヤロウ） 飛田義一 深義院柔和法楽信士

昭和十一年五月三十一日〜昭和六十三年七月六日

五十三 台東区 妙泉寺メモリアルガーデン上野

洋式型 正面・人は心 下に飛田家 花立・八曜紋

墓誌・深義院柔和法楽信士 昭和六三年七月六日

行年五十二才 右側面・平成十五年 春彼岸建之

施主 飛田貴博（東MAX） 東貴博の実父

片岡鶴八 片岡保夫 法名不詳

大正六年七月七日〜昭和六十三年七月十三日

七十二 港区 心光院 浄土宗

芸名は「しろうと寄席」の審査員であった安藤鶴

夫と木下華声（江戸家猫八）の鶴と八の字を貰った。

声色

橘右近（柳家さくら） 梶田兼吉 大雲院法橘右近居士

明治三十六年十一月十八日〜平成七年七月三日

九十二 港区 誠瀧山妙圓寺 日蓮宗

角柱香箱型 丸に三つ柏紋正面・梶田家之墓

左側面・大雲院法橘右近居士 平成七年七月三日没

梶田兼吉 号橘右近 九十二才

昭和二十四年四月 落語家を廃業し神田立花演芸場

楽屋主任と専門の寄席文字の書家専業になる。

筆塚 品川区 龍吟山海雲寺 曹洞宗

自然石 正面・筆塚 右側・橘流寄席文字

左側・家元橘右近 九十二歳 落款

内海好江 奥田好江 賢達院藝秀日好大姉

昭和十一年二月二十三日〜平成九年十月十六日

六十二世田谷区 妙祐山幸龍寺 日蓮宗

右側に内海桂子略歴碑

内海好江、法号 「賢達院藝秀日好大姉」

昭和十一年二月二十三日、東京浅草に於て

栗田好太郎・ツルの長女として生を享ける。

〜中略〜

平成九年十月十六日 行年 六十一歳

二代目林家正楽 山崎景作 光芸院浄誉正楽居士

昭和十年九月二十一日〜平成十年七月二日 六十四

春日部市 大河山圓福寺 角柱平頭型 正面・山崎

家之墓 花台・丸に違い鷹の羽紋 紙切り

三代目江戸家猫八 岡田六郎 鶯妙院清信日禄居士

大正十年十月一日〜平成十三年十二月十日

八十一豊島区雑司ヶ谷墓地 一西六一三

角柱香箱型正面・初代江戸家猫八之墓 左側面・鶯妙

院清信日禄居士 平成十三年十二月十日 行年

八十才 ほか三名 台石框内・巴紋 動物ものまね

海老一染太郎 村井正秀 釋染秀信士

昭和七年二月一日〜平成十四年二月二日 七十一

新宿区分應山常敬寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・村井家之墓 水鉢・下り藤紋

右側面・芸名 海老一染太郎 釋染秀信士

平成十四年二月二日 俗名 正秀 行年 七十才

太神楽(海老一染之助染太郎)

コロムビア・トッポ 下村泰 法名不詳

大正十一年五月六日〜平成十六年六月七日 八十三

目黒区 泰陽山東光寺 曹洞宗

角柱平頭型 正面・下村家之墓 水鉢・丸に三つ柏紋

左隣に墓碑 右隣に墓碑 一基

漫才師(コロムビア・トッポ・ライト) 漫談家

世直しトッポ地藏尊 桐生市 成田山赤城寺

トッポ氏が合掌している像が彫られている石塔

美人すぎるお坊さんが居ると評判の尼寺

前田隣 ナンセンストリオ 中沢永一郎 永岳有隣信士

昭和十一年四月十二日〜平成二十一年二月十九日

七十四 文京区 天長山是照院 臨濟宗妙心寺

角柱平頭型白木 正面・○ 中澤家之墓 右側面・

永岳有隣信士 昭和三十九年ナンセンストリオに加入

「親亀の背中に小亀を乗せて」 「赤あげて白

下げて」で一世を風靡 トリオ漫才のちピンで漫談

二代目柳家紫朝 渡辺実 春暁院寛蒼紫朝居士

昭和四年十一月三日〜平成二十二年四月二十六日

八十二 港区 久遠山栄閑院 浄土宗

角柱平頭型 正面・備前蝶菱紋 先祖代々之墓

コロムビア・ライト 鳥屋二郎 法名不詳

昭和二年三月三十日〜平成二十二年十月二十六日

八十四 墓所不明

漫才師（コロムビア・トップ・ライト）漫談家

宮尾すすむ 山口進 馨光院誠徳進修居士

昭和九年三月八日〜平成二十三年七月十二日

七十八 港区 高野山東京別院 高野山真言宗

角柱香箱型 正面・山口家之墓

墓碑・馨光院誠徳進修居士 平成二十三年七月十二

日 俗名 山口進 享年 七十七歳 漫談家

三増紋也 細野春次 善良院日春信士

大正十四年一月十七日〜平成二十三年七月二十六

日 八十七 豊島区 不動山宝城寺 日蓮宗

角柱香箱型 正面・細野家之墓 花台・家紋

曲独楽

ニユーマリオネット 伊原寛 圓通院喜岳寛裕居士

昭和十年二月一日〜平成二十三年十一月一日

七十七 千葉市 平和公園墓地 マーニー二宗教不

問洋式型 正面・武藤家 花台・丸に片喰紋 背面・

圓通院喜岳寛裕居士 平成二十三年十一月一日

俗名 伊原寛 享年 七十六才

マリオネット(伊原寛・千寿子 操り人形)

牧伸二 大井守常 法名不詳

昭和九年九月二十六日〜平成二十五年四月二十九

日 八十 港区 長照山栄寿寺 浄土宗

角柱香箱型 正面・刻字? 右側面・法名三名 背面・

守常の名あり 塔婆に 「梵字で南無阿弥陀仏 為牧

伸二 歎談士満中陰超生浄土」

太田家元九郎 太田元 法名不詳

昭和二十九年一月三日〜平成二十六年七月十八日

六十一 墨田区 牛頭山弘福寺 黄檗宗

墓碑はなく墓地の中の阿弥陀像の下に納骨

翁家和楽 石井孝和 玄覚孝堂信士

昭和八年十二月十九日〜平成二十六年九月三日

八十二 光明山 西蓮寺 真言宗豊山派

正面・丸に井桁紋 石井家累代之墓

側面・三代目翁家和楽 玄覚孝堂信士 平成二十六年
九月三日 俗名 孝和 八十一歳 太神楽

ニユーマリオネット 伊原千寿子 法名不詳

昭和三年十月二十六日〜平成二十七年九月十四

日 八十七 千葉市 平和公園墓地 マー 一 二 宗教不

問洋式型 正面・武藤家 花台・丸に片喰紋 操り人形

マリオネット(伊原寛・千寿子 操り人形)

四代目江戸家猫八 岡田八郎 鵜妙院自響日朗信士

昭和二十四年十一月三十日〜平成二十八年三月

二十一日 六十八 豊島区雑司ヶ谷墓地 一 西六一

三角柱香箱型正面・初代江戸家猫八之墓 左側面・

鵜妙院自響日朗信士 平成二十八年三月二十一日

行年 六十六才 ほか三名 台石框内・巴紋

海老一染之助 村井正親 法名不詳

昭和九年十月一日〜平成二十九年十二月六日

八十四 新宿区 分應山常敬寺 真宗大谷派

角柱平頭型 正面・村井家之墓 水鉢・下り藤紋
太神樂(海老 一染之助染太郎)

江戸太神樂 丸 一仙翁社中(江戸太神樂歷代家元墓碑
港区 桃源山仙翁寺 曹洞宗

初代丸 一近太夫 慶長二年七月十一日没

鏡味近太夫 鏡月院貞理社士

二代目丸 一近太夫 明暦三年一月十九日没

鏡味近太夫 法名不詳

三代目丸 一鹿左衛門 元禄八年二月十七日没

鏡味鹿左衛門 法名不詳

四代目丸 一作右衛門 享保十九年十一月六日没

鏡味作右衛門

五代目丸 一權之進 明和二年四月十五日没

鏡味權之進 機峰了全社士

六代目丸 一權之進 天明四年五月十六日没

鏡味權之進 心月貞照信士

七代目丸 一權之進 文政十年六月二十四日歿

鏡味權之進 大蓮覺乘信士

八代目丸 一權之進 文久二年二月七日没

鏡味權之進 梅林院壽巖香信士

九代目丸 一權之進 明治三十九年一月九日没

鏡味權之進 法名不詳

十代目丸 一仙太郎 昭和四年十月三日没

鏡味仙太郎 鼓山日釣居士 享年七十一

十一代目丸 一小仙 昭和二十二年五月十四日歿

鏡味小仙 満中院鞠手掀翻信士 享年六十四

(墓碑には鞠手掀翻信士)

十二代目丸 一小仙 昭和五十六年十二月五日没

鏡味小仙 享年三十三

正岡容 正岡容 嘯風院文彩容居士

明治三十七年十二月二十日～昭和三十三年十二月

七日 五十五 台東区 望湖山玉林寺 曹洞宗

洋風櫛型 正面・下がり藤紋 正岡累代墓 右側・法名

五名 左側・嘯風院文彩容居士 昭和三十三年十二月

七日 俗名 正岡容 行年 五十四才 上台石・三藤

右側面・祠堂金貳拾圓 納之 左側面・法名 一名

辞世 「打ち出しの太鼓聞えぬ真打はまだ二三席やりたけれども」

弟子に三代目桂米朝・小沢昭一・大西信行・永井啓夫

鶯春亭梅橋・初代金原亭馬の助・都筑道夫・加藤武・

小島貞二・三代目圓歌など

『東海道宿場しぐれ』『影繪は踊る 東京夜曲』

『圓太郎馬車』『圓朝』『雲右衛門以後』など

浪曲 『天保水滸伝』『灰神楽三太郎』の作者

正岡容碑 同寺境内

正面 「おもひ皆 叶ふ春の灯 点りけり」 正岡容

背面・昭和四十六年辛亥歳十二月七日 知己友人の

志を募りて建之 作家 演芸評論家

安藤鶴夫 花島鶴夫 順徳院鶴翁道寿居士 揚羽蝶紋

明治四十一年十一月十六日～昭和四十四年九月九

日 六二 豊島区 雑司ヶ谷靈園 一十九―四

墓地内 五輪塔 一基 角柱香箱型二基 仏像型二基

墓誌・花島家墓誌 安藤鶴夫(本名花島鶴夫)

一九〇八年十一月十六日竹本都太夫の子として東

京浅草に生まれる。一九六九年死去(行年六一歳)

一九三四年法政大学文学部仏文科卒業

作家 演劇演芸評論家

一九六〇年 『芸阿呆』により芸術祭賞を受賞

一九六四年 『巷談本牧亭』により第五〇直木賞受

賞著書 小説 『寄席紳士録』『巷談本牧亭』『竹

とんぼ』評論集 『芸について』随筆集 『ある日

その人』『古い名刺』『雪まろげ』没後 安藤鶴夫

作品集全六卷(朝日新聞社一九七〇)が刊行された

没後 勲四等旭日小授章 受賞 一九六九年十一月福

井県永平寺に納骨永代供養をする

花島家墓碑 ほか 一名竹本都太夫

色川武大(阿佐田哲也)色川武大 行雲院大徳哲章居士

昭和四年三月二十八日〜平成元年四月十日 六十一

台東区 谷中霊園 甲 一号九側

角柱変形笠塔婆型 蔦紋 正面・色川家之墓

背面・行雲院大徳哲章居士 平成元年四月十日

色川武大 六十才 左側面 法名六名 花台・蔦紋

(昭和三六年)純文学の分野でも 『黒い布』で中央

公論 新人賞、昭和五二年 『怪しい来賓簿』で泉鏡

花賞、昭和五三年 『離婚』で直木賞、昭和五七年

『百』で川端康成文学賞、平成元年 『狂人日記』

読売文学賞を受賞。『寄席放浪記』昭和三十年代に

『阿佐田哲也』のペンネームで 『麻雀放浪記』な

どの一連を小説を発表し、ロングセラーと続け「マ

ージャン小説」というジャンルを築いた。作家 演芸

評論家 京都府京都市伏見区の稲荷山大日本大道教

内に 『阿佐田哲也大神』として祀られている。平

成八年年八月・新日本麻雀連盟の南本喜三理事長が

建立。毎年例祭が執り行われている。平成元年岩手

県一関市に転居、同四月心筋梗塞により没する

三遊塚

墨田区 梅柳山墨田院木母寺 天台宗

一丈余りの自然巨石

正面・三遊塚 山岡鉄舟書

背面・為先師三遊亭圓生翁追福建之

明治廿二年三月二十一日

三遊亭圓朝 並門人中 高橋泥舟書

三遊派再興の悲願が叶い明治二二年三月圓朝が

木母寺に三遊塚を寄進、六月、初代・二代目三遊亭

圓生を追福の大施餓鬼が行われた。門下四十三名と

圓朝が雪月花に因んだ小喃を一席ずつ披露、奉納小

咄集が 『雪月花二題噺連』三遊亭圓朝子の伝・掲載

昔はなし柳塚

墨田区 柳島妙見山玄和院法性寺 日蓮宗 自然石

正面・昔はなし塚 この石碑は落語界の一派、柳派の

記念碑と考えられます。剥落が激しいため建立年代

や人名などが読み取りにくい部分が多いですが、社

長・頭取・監査・会計等の役職名が記されています。

はなし塚

台東区 長瀧山本法寺 日蓮宗

自然石・はなし塚

この塚が建立された昭和十六年十月、当時国は太平洋戦争へと向かう戦時下にあり、各種芸能団体は、演題種目について自粛を強いられていた。落語界では、演題を甲乙丙丁の四種に分類し、丁種には時局にあわないうものとして花柳界、酒、妾に関する囃、廓囃等五十三種を選び、禁演落語として発表、自粛の姿勢を示した。この中には江戸文芸の名作といわれた『明烏』『五人廻し』『木乃伊取り』等を含み、高座から聴けなくなった『はなし塚』は、これら名作と落語界先輩の霊を弔うため、当時の講談落語協会、小咄を作る会、落語講談家一堂、落語定席席主が建立したもので、塚には禁演となった落語の台本等が納められた。

禁演落語五十三席

明烏・栗餅・磯の鮑・居残り佐平次・お茶汲み・お見立

て・親子茶屋・首ったけ・廓大学・五人廻し・子別れ・三助の遊び・三人片輪・三人息子・三枚起請・品川心中・お祓い・高尾・辰巳の辻占・付き馬・突落し・搦屋無間・つるつる・とんちき・二階ぞめき・錦の袈裟・にせきん・白銅・ひねりや・文違い・坊主の遊び・万歳の遊び・木乃伊取り・山崎屋・よかちよろ・六尺棒・権助提灯・一つ穴・星野屋・愔愔の独楽・城木屋・引越の夢・包丁・氏子中・紙入・駒長・葛の間男・蛙茶番・疝気の虫・不動坊・宮戸川・目薬・後生鰻

発起人

- | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|
| ⑥ 一龍齋貞山 | ⑧ 桂 | 文治 | ④ 柳家小さん |
| ⑧ 桂 | 文楽 | ⑤ 古今亭志ん生 | ② 三遊亭円歌 |
| ⑥ 三遊亭円生 | ⑤ 蝶花樓馬楽 | ① 桂 | 小南 |
| ⑥ 柳亭 芝楽 | ④ 立川 談志 | ③ 三遊亭金馬 | |
| ③ 三遊亭円遊 | ① 柳家金語樓 | ⑥ 春風亭柳橋 | |
| ⑤ 柳亭 左楽 | ① 桂 小文治 | ③ 春風亭柳好 | |
| ② 三升 紋彌 | ②④ 昔々亭桃太郎 | ⑤ 古今亭今輔 | |
| ⑥ 春風亭小柳枝 | ⑦ 三笑亭可楽 | ② 大島 伯鶴 | |
| ① 神田 山陽 | ④ 小金井蘆州 | ⑤ 神田 伯龍 | |

⑧入船亭扇橋 四谷 喜よし 新宿 末廣亭

上野 鈴木亭 東寶名人会 林 暁紅

落語研究会 今村信雄 題字揮毫 長井金升

建設委員 野村無名庵 建設委員 鈴木凸太

石工 南澤仙吉

芸能塚

葛飾区 光明寺 単立

自然石 正面・芸能塚 左隣に建立者 東京芸能幹旋

事業組合の二十四の会社名と代表者名が刻字

寄席発祥之地碑

台東区 下谷神社 祭神 大年神・日本武尊

入口右側 角柱平頭石塔 正面 寄席発祥之地 右下・

五代目小さん書 左側面・寛政十年（一七九八）六月

下谷稻荷神社境内に於て咄の会が初めて有料で催

され、これが江戸の寄席の発祥と伝えられる。

二百周年に当たり之建 平成十年四月十一日

寄席二百年顕彰会

下段・鈴木演芸場 新宿 末廣亭 浅草演芸ホール

池袋演芸場 世話人一同 右隣に子規の句碑あり

「寄席はねて 上野の鐘の夜長哉」子規

踊塚

台東区 安立山長遠寺（土富店祖師） 日蓮宗

自然石 正面・踊塚 右側・為元祖橘家圓三郎追福

左側・二世 橘家圓三郎建之

背面・明治三十一年四月八日 三遊亭圓朝書

寄席の高座では腰を据えたまま踊る寄席踊りが

重宝された。圓三郎はその踊りが名人だったという。

後に寄席坐り踊りの祖と称される。

扇塚

台東区 長瀧山本法寺 日蓮宗

楕円形型 正面・扇塚 左下・文治書（十代目）

背面・平成十五年寿 落語芸術協会建之

ご協力感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

ご協力感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

三升家小勝	三遊亭歌笑	金原亭伯楽	山本 進	木村 文蔵	渡辺 孝之
桂 文生	むかし家今松	柳家 べ治	井白千恵子	中根 義雄	大橋 純雄
三遊亭小歌	林家 時蔵	古今亭志ん橋	滝口 徹	青柳 源信	水野 雅夫
金原亭馬生	柳家喜多八	柳亭 燕路	前野誠次郎	三品 陽一	松本 照男
柳家小三太	柳家三語楼	桂 右女助	山田美津江	瀧口 雅仁	加藤 浩
入船亭扇蔵	月の家鏡太	鏡味仙三郎	森田 恵介		
アサダ二世	伊藤 夢葉	桂 南なん			
桂 小文治	桂 小南	春風亭柳好			
桂 右団治	柳亭 芝楽	立川 談幸			
三笑亭夢丸	柳亭小痴楽	立川 吉幸			
三遊亭小圓朝	三遊亭王楽	立川 龍志			
宝井 琴梅	神田 陽子	東家浦太郎			
玉川 太福	東家一太郎	澤 順子			
名和美代児	橘ノ 百圓	瀧川 鯉昇			
柳家さん助					

◆◆人名索引(高座名)◆◆

◇あ行

朝寝房夢羅久(初代)

2

宇治茶楽(三笑亭茶楽)

64

朝寝坊むらく(三代目)

8

内海好江

74

朝寝坊むらく(五代目)

14

鳥亭焉馬(初代)

2

朝寝坊むらく(六代目)

19

江戸家猫八(二代目)

68

朝寝坊むらく(八代目)

30

江戸家猫八(三代目)

73

東八郎(トリオスカイライン)

73

江戸家猫八(四代目)

74

アダチ龍光

71

海老一染太郎

76

安楽庵策伝

1

海老一染之助

76

石井宗叔(初代)

1

鶯春亭梅橋

39

石井宗叔(二代目)

2

太田家元九郎

76

一柳斎柳一(お伽丸柳)

67

翁家さん次

40

伊藤一葉

70

翁家さん馬(四代目)

9

入船亭扇橋(八代目)

35

翁家さん馬(八代目)

45

入船亭扇橋(九代目)

62

翁家さん馬(十代目)

58

入船亭扇蔵(三代目)

53

翁家和楽

76

入船米蔵

19

◇か行

27

浮世亭信楽(初代)

29

快楽亭ブラック(初代)

73

桂歌丸	63	桂文治（九代目）	47
桂枝太郎（二代目）	46	桂文治（十代目）	56
桂榮賀	17	桂文朝	56
桂枝助	56	桂文樂（四代目）	13
桂圓枝	59	桂文樂（五代目）	28
桂紅雀	33	桂文樂（八代目）	44
桂小金治	61	桂三木助（二代目）	35
桂小南（初代）	37	桂三木助（三代目）	41
桂小南（二代目）	53	桂三木助（四代目）	54
桂小文治（二代目）	43	雷門小福	60
桂才賀（二代目）	15	雷門助六（六代目）	31
桂南治	54	雷門助六（七代目）	41
桂南八	58	雷門助六（八代目）	51
桂文治（上方）（初代）	2	雷門福助（初代）	50
桂文治（三代目）	6	雷門福助（二代目）	52
桂文治（四代目）	7	喜久亭寿樂（倉繁善太郎）	21
桂文治（五代目）	6	喜久亭寿樂（四代目）	58
桂文治（六代目）	21	吉慶堂李彩	69
桂文治（八代目）	39	帰天斎小正（三遊亭正右）	67

木下華声（二代目江戸家猫八）	73	古今亭右朝	54
金原亭馬の助（初代）	45	古今亭圓菊	60
金原亭馬生（初代）	4	古今亭志ん好	52
金原亭馬生（二代目）	7	古今亭志ん駒	62
金原亭馬生（三代目）	9	古今亭志ん五	59
金原亭馬生（四代目）	11	古今亭甚語楼（二代目）	44
金原亭馬生（五代目）	36	古今亭志ん生（初代）	5
金原亭馬生（六代目）	28	古今亭志ん生（二代目）	11
金原亭馬生（七代目）	45	古今亭志ん生（三代目）	24
金原亭馬生（八代目）	34	古今亭志ん生（四代目）	28
金原亭馬生（九代目）	37	古今亭志ん生（五代目）	45
金原亭馬生（十代目）	49	古今亭志ん朝（三代目）	54
鈴々舎馬風（九代目）	42	古今亭志ん馬（四代目）	41
乾坤坊良斎（初代）	6	古今亭志ん馬（八代目）	52
古今亭今輔（初代）	11	古今亭志ん馬（九代目）	60
古今亭今輔（二代目）	14	五明楼玉輔（初代）	7
古今亭今輔（三代目）	27	五明楼玉輔（二代目）	14
古今亭今輔（四代目）	33	五明楼玉輔（三代目）	24
古今亭今輔（五代目）	46	五明楼玉輔（四代目）	32

コロムビア・トップ

74

二遊亭歌奴（三代目）

56

コロムビア・ライト

75

二遊亭右女助（三代目）

57

◇さ行

二遊亭右紋

61

桜川慈悲成

4

二遊亭圓右（初代）

27

三笑亭可楽（初代）

3

二遊亭圓右（二代目）

38

三笑亭可楽（二代目）

4

二遊亭圓右（三代目）

57

三笑亭可楽（三代目）

5

二遊亭圓歌（初代）

29

三笑亭可楽（四代目）

8

二遊亭円歌（二代目）

43

三笑亭可楽（京都）（五代目）

12

二遊亭圓歌（三代目）

62

三笑亭可楽（五代目）

18

二遊亭圓鶴

17

三笑亭可楽（六代目）

27

二遊亭圓橘（二代目）

19

三笑亭可楽（七代目）

35

二遊亭圓橘（三代目）

23

三笑亭可楽（八代目）

42

二遊亭圓橘（五代目）

40

三笑亭夢三四

52

二遊亭圓玉

25

三笑亭夢楽

57

二遊亭圓晃

31

三笑亭夢丸（初代）

61

二遊亭圓好（七代目）

57

三遊亭市馬（味波文之助）

19

二遊亭圓左（初代）

20

三遊亭市馬（岸正二郎）

50

二遊亭圓左（二代目）

29

三遊亭一朝

30

二遊亭圓左（四代目）

51

三遊亭圓生（初代）	3	三遊亭圓麗（初代）	13
三遊亭圓生（二代目）	6	三遊亭圓録（圓六）	9
三遊亭圓生（三代目）	10	三遊亭歌雀	58
三遊亭圓生（四代目）	18	三遊亭歌笑（三代目）	37
三遊亭圓生（五代目）	34	三遊亭金勝	33
三遊亭圓生（六代目）	47	三遊亭金朝（二代目）	20
三遊亭圓窓（五代目）	42	三遊亭金朝（三代目）	23
三遊亭圓朝（初代）	16	三遊亭金馬（二代目）	29
三遊亭圓朝（二代目）	27	三遊亭金馬（三代目）	43
三遊亭圓之助（三代目）	50	三遊亭小圓朝（二代目）	26
三遊亭圓馬（初代）	10	三遊亭小圓朝（三代目）	45
三遊亭圓馬（四代目）	50	三遊亭小圓馬	53
三遊亭圓福	69	三遊亭小圓遊（初代）	18
三遊亭圓彌	57	三遊亭小圓遊（三代目）	28
三遊亭圓遊（初代）	20	三遊亭小圓遊（四代目）	48
三遊亭圓遊（二代目）	27	三遊亭三福（初代）	19
三遊亭圓遊（三代目）	36	三遊亭生之助	58
三遊亭圓遊（四代目）	49	三遊亭新朝（二代目）	12
三遊亭圓樂（五代目）	59	三遊亭清遊	35

三遊亭大漁	22	春風亭柴橋	59
三遊亭朝之助	46	春風亭菊枝	17
三遊亭百生（二代目）	42	春風亭玉枝	14
三遊亭ぼん太	10	春風亭小柳枝（七代目）	42
三遊亭萬橘（二代目）	15	春風亭小柳枝（八代目）	55
三遊亭遊三（初代）	23	春風亭枝雀	48
三遊亭遊三（二代目）	42	春風亭扇枝	55
三遊亭遊雀	30	春風亭伝枝	16
三遊亭遊林	14	春風亭年枝（初代）	17
三遊亭若馬	52	春風亭梅橋	49
鹿野武左衛門	1	春風亭梅枝（初代）	26
紫檀楼古木（古喜）	3	春風亭柳桜（初代）	61
七昇亭花山文（五代目）	22	春風亭柳橋（六代目）	47
司馬龍生（三代目）	5	春風亭柳橋（七代目）	56
司馬龍生（九代目）	36	春風亭柳好（三代目）	40
秋風亭米枝	26	春風亭柳好（四代目）	51
春風亭柳窓	25	春風亭柳枝（初代）	8
春錦亭柳櫻（初代）	13	春風亭柳枝（二代目）	9
春風亭一柳	48	春風亭柳枝（三代目）	17

春風亭柳枝（四代目） 29

春風亭柳枝（六代目） 31

春風亭柳枝（七代目） 34

春風亭柳枝（八代目） 41

春風亭柳條（初代） 13

春風亭柳昇（五代目） 55

春風亭柳朝（五代目） 51

春麗亭柳花 23

松旭齋天一 66

松旭齋天勝 68

松旭齋天洋 71

松柳亭鶴枝（二代目） 67

松柳亭鶴枝（三代目） 69

蜃気楼龍玉（二代目） 38

昔々亭桃太郎（齊藤嘉吉） 30

昔々亭桃太郎（山下喜久雄） 44

船遊亭扇橋（初代） 2

船遊亭扇橋（七代目） 12

◇た行

瀧川鯉かん（二代目） 21

瀧川鯉橋 21

橘家圓之助（初代） 24

橘右近 73

橘（や） 71

橘ノ圓（初代） 32

橘ノ圓（三代目） 61

立花家歌子 69

橘家圓喬（四代目） 22

橘家圓三郎（初代） 11

橘家圓藏（四代目） 25

橘家圓藏（七代目） 48

橘家圓藏（八代目） 62

橘家圓太郎（初代） 8

橘家圓太郎（四代目） 15

橘家圓太郎（七代目） 46

立花家歌橋（初代） 65

立花家橘之助（初代） 32

橘家小圓喬 24

橘家小圓藏

34

蝶花楼馬楽（二代目）

12

橘家三蔵

53

蝶花楼馬楽（三代目）

22

橘家文三

35

蝶花楼馬楽（五代目）

49

橘家文蔵（二代目）

54

蝶花楼馬楽（六代目）

50

立川焉馬（二代目）

6

佃屋白魚

10

立川焉馬（三代目）

8

土橋亭りう馬（初代）

5

立川左談次

63

土橋亭りう馬（五代目）

12

立川善馬（二代目）

7

土橋亭里う馬（七代目）

24

立川ぜん馬（五代目）

41

土橋亭里う馬（九代目）

44

立川談志（三代目）

9

都々一坊扇歌（初代）

64

立川談志（四代目）

11

都々一坊扇歌（二代目）

65

立川談志（五代目）

31

都々一坊扇歌（三代目）

65

立川談志（六代目）

38

都々一坊扇歌（四代目）

65

立川談志（七代目）〔松岡克由〕

60

都々逸坊扇歌（五代目）

66

立川談笑（初代）

1

都々逸坊扇歌（七代目）

72

立川談大

60

豊嶋寿鶴齋（初代）

64

立川文都（六代目）

59

豊嶋寿鶴齋（二代目）

65

談洲楼燕枝（初代）

16

◇な行

談洲楼燕枝（二代目）

33

西川たし

69

ニューマリオネット(伊原千寿子)

76

引田天功(初代)

70

ニューマリオネット(伊原寛)

75

富士松ぎん蝶(二代目)

66

◇は行

富士松ぎん蝶(三代目)

72

八光堂春輔

9

文の家かしく

26

林家三平(初代)

48

豊年斎梅坊主

67

林屋正蔵(初代)

4

◇ま行

林屋正蔵(四代目)

9

前田隣(ナンセンストリオ)

75

林家正蔵(五代目)

26

牧伸二

76

林家正蔵(六代目)

29

丸二近太夫(初代)

77

林家正蔵(七代目)

37

丸二近太夫(二代目)

77

林家正蔵(八代目)「林家彦六」

49

丸二鹿左衛門(三代目)

77

林家正蝶

10

丸一作右衛門(四代目)

77

林家正楽

20

丸一権之進(五代目)

77

林家正楽(紙切り)(初代)

70

丸一権之進(六代目)

77

林家正楽(紙切り)(二代目)

74

丸一権之進(七代目)

77

林家彦六「八代目林家正蔵」

49

丸一権之進(八代目)

77

はやし家林蔵

59

丸一権之進(九代目)

77

春本助次郎(初代)

66

丸一仙太郎(十代目)

77

春本助次郎(二代目)

68

丸一小仙(十一代目)

77

丸一小仙(十二代目)

77

◇や行

三増紋也

75

柳川一蝶斎(三代目)

66

三升家勝次郎(三代目)

18

柳家枝太郎(四代目)

36

三升家勝次郎(四代目)

26

柳家菊語楼

53

三升家勝輔

23

柳家喜多八

62

三升家勝蔵(四代目)

25

柳家金語楼

45

三升家勝太郎

51

柳家きん平

43

三升亭小勝(二代目)

8

柳家小團治

50

三升亭小勝(四代目)

19

柳家小きん

23

三升家小勝(五代目)

33

柳家小さん(二代目)

15

三升家小勝(六代目)

44

柳家小さん(三代目)

30

三升家小勝(七代目)

51

柳家小さん(四代目)

36

宮尾すむ

75

柳家小さん(五代目)

55

宮尾たか志

72

柳家小三治(八代目)

46

都家歌六(四代目)

29

柳家小せん(初代)

24

都家歌六(八代目)

63

柳家小せん(二代目)

40

都家かゝ江

72

柳家小せん(三代目)

44

都屋都楽(写し絵都楽)

64

柳家小せん(四代目)

57

邑井吉瓶(二代目)

18

柳家小はん

38

柳家小半治	40	養老滝五郎（三代目）	67
柳家小蝠	62	◇ら行	
柳家梧楼（リーガル万吉）	43	柳亭市馬（味波庄太郎）	27
柳家権太楼（初代）	39	柳亭市馬（三代目）	39
柳家三語楼（初代）	33	柳亭燕枝（三代目）	39
柳家さん助（二代目）	60	柳亭燕路（三代目）	25
柳家紫朝（初代）	66	柳亭燕路（五代目）	38
柳家紫朝（二代目）	75	柳亭燕路（六代目）	51
柳家（ばめ）（初代）（五代目扇歌）	66	柳亭燕丸	28
柳家（ばめ）（二代目）	29	柳亭小燕枝（二代目）	23
柳家（ばめ）（三代目）	38	柳亭左鶴	16
柳家（ばめ）（四代目）	41	柳亭左楽（初代）	5
柳家（ばめ）（五代目）	45	柳亭左楽（二代目）	8
柳家（ば女）（六代目）	56	柳亭左楽（三代目）	11
柳家蝠丸（初代）	34	柳亭左楽（四代目）	22
柳家三亀松（初代）	70	柳亭左楽（五代目）	39
柳家緑朗（リーガル千太）	48	柳亭左龍（初代）	21
養老滝五郎（初代）	65	柳亭左龍（二代目）	23
養老滝五郎（二代目）	65	柳亭芝楽（十代目）	53

柳亭紫楽

28

柳亭痴楽（四代目）

52

柳亭痴楽（五代目）

58

柳亭春楽（四代目）

46

柳亭雛太郎

40

麗々亭柳橋（初代）

4

麗々亭柳橋（三代目）

13

麗々亭柳橋（四代目）

17

麗々亭柳橋（五代目）

27

麗々亭柳仙

25

麗々亭柳門

20

◇その他

扇塚

81

踊塚

81

芸能塚

81

三遊塚

79

はなし塚

80

筆塚（橘右近）

74

昔ばなし柳塚

79

寄席発祥之地碑

81

安藤鶴夫

78

色川武大

79

正岡容

78

参考文献

『東都噺家師弟系図』初代三遊亭圓生 天保七年頃（明治三十五年 山口豊山・写）

『落語家奇奴部類』扇遊亭扇橋 弘化五年 一月

『酔興奇人伝』山々亭有人・他 文久三年 宝善堂

『墓所栞』山口豊山 明治二十年代 自筆本

『三遊亭圓朝子の伝』朗月散史・編 明治二十四年九月 鈴木金輔

『名人忌辰録』関根只誠 明治二十七年 六合館

『遊藝掃墓史料』山口豊山 明治三十年代 山口豊山

『墓喝余誌』林旧竹 明治三十三年 自筆本

『夢跡集』山口豊山 明治三十七年 自筆本

『講談落語今昔譚』関根黙庵 大正十三年四月 雄山閣

『墓碑（技芸士招魂録）』六代目林家正蔵 昭和三年五月 私家版冊子

『落語系図』月亭春松編 昭和四年七月 橋本卯三郎

『東京掃苔録』藤浪和子 昭和十五年五月 八木書店

『落語事典』今村信雄 昭和三十二年九月 青蛙房

『三遊亭圓朝』永井啓夫 昭和三十七年十二月 青蛙房

『黄土花（ことはな）』高野金太郎 昭和三十八年五月 孔版

『寄席育ち』六代目三遊亭圓生 昭和四十年三月 青蛙房

『明治の演芸①⑧』倉田喜弘編 昭和五十五年九月 国立劇場芸能調査室

『高座変人奇人伝』 小島貞二 昭和四十三年七月 立風書房

『明治の寄席芸人』 六代目三遊亭圓生 昭和四十五年十一月 青蛙房

『都々一坊扇歌の生涯』 高橋武子 昭和五十四年七月 叢葉書房

『人名名演落語全集(九)』 斎藤忠市郎 昭和五十六年十二月 立風書房

『只誠埃録 二百二』 関根只誠 昭和五十八年四月 教育出版センター

『古今東西落語家事典』 芸能懇話会 大阪芸能懇話会編 平成元年四月 平凡社

『古今落語系図 一覽表(文之助系図・家元本)』 四代目桂文之助・著 山本進・校注

平成十六年三月 国立劇場調査資料課

『本朝話者系図』 全亭武正事 三世三笑亭可楽 山本進監修 平成二十七年三月 国立劇場調査要請部編

『落語界①』 ④② 別冊』 昭和四十九年二月 昭和五十九年五月 深川書房

『落語①』 ③⑦』 昭和五十四年八月 平成二十年七月 弘文出版

『東京かわら版』 雑誌 昭和四十九年十一月 東京かわら版

『寿限無①』 ⑨』 季刊誌 (財)落語芸術協会誌 平成元年 一月 平成三年 (財)落語芸術協会

『季刊 芸協』 (財)落語芸術協会誌 平成十三年 季刊 (財)落語芸術協会

『ぞろぞろ』 季刊誌 落語協会誌 (全五十五号) 平成元年十一月 平成十四年四月 落語協会

『落語の友』 季刊誌 落語協会誌 (全六号) 平成十四年七月 平成十六年四月

東都噺家掃苔録

附録 色物芸人

平成三十年十二月二十五日発行
限定五十部（非売品）

著者 青柳徳次

編者（追補） 神山昭雄（甘金）

発行者 青柳徳次

発行所 私家版

住所 千葉県松戸市小金きよしヶ丘四丁目十五番一号

E-mail: negoro.-@cd-v.net

